

発行部数400万部超え!

ジョイス・マイヤー

#1 ニューヨークタイムズベストセラー作家

思考

という名の

戦場

思考における戦いに勝利するために
スタディーガイド



思考という名 の戦場

スタディーガイド

思考における戦いに勝利するために

ジョイス・マイヤー

Unless otherwise indicated, all scripture quotations
are taken from the:

SHINKAIYAKU BIBLE.

Copyright © 2004 by Inochi No Kotoba Sha
(used by permission);

the Japanese Living Bible (リビングバイブル)
Copyright© 1978, 2011, 2016 by Biblica, Inc.®
Used by permission. All rights reserved worldwide.

Colloquial Japanese (1955) (JA1955)

ALIVE訳

© 2014 Bible League International. All rights reserved.

Copyright © 2018 by Joyce Meyer
All Rights Reserved.

Translated and printed by Lifehouse Media in Japan.
<http://www.mylifehouse.com>

For more copies of this book and other resources
please contact the Joyce Meyer Ministries Japan
team at contact@jmmjapan.jp.

もくじ

本スタディーガイドについて		vii
第1部 思考の重要性		
イントロダクション		3
第1章	思考は戦いの場	7
第2章	必要不可欠なもの	13
第3章	あきらめないで	17
第4章	一歩ずつ前進	23
第5章	ポジティブにこう	27
第6章	思考を縛る霊	33
第7章	今何を考えているのか考えてみる	37
第2部 心の状態		
イントロダクション		45
第8章	正常な心の状態って？	47
第9章	さまよい迷う心	53
第10章	混乱した心	59
第11章	疑い深く、不信仰な心	65
第12章	不安と心配に駆られる心	71
第13章	人を非難しやすく、批判的で疑い深い心	77
第14章	消極的で受け身な心	83
第15章	キリストの心	89
第3部 荒野をさまようメンタリティー		
イントロダクション		99
第16章	『私の将来は、過去と現在に左右される。』	103
第17章	『責任を負うのは嫌だから、誰か代わりにやって!』	107
第18章	『難しいことはやめて!私には無理だから!』	113
第19章	『愚痴こぼし、あら探し、不平不満…どうしてもやめられない!』	119
第20章	『待たされるなんてあり得ない。今すぐ受け取りたい!』	125
第21章	『確かに私の態度は良くないかも。でも、それは私のせいじゃない!』	131
第22章	『なんて惨めな人生…哀れな自分がかわいそうでたまらない!』	137
第23章	『価値のない自分…祝福を受け取る資格なんてない。』	141
第24章	『周りはみんな私よりも優秀な人ばかり。それをうらやましく思うのは当然のことでしょ?』	147
第25章	『私は私のやり方でやる!それがダメならやりたくない。』	151

本スタディーガイドについて

このスタディーガイドは、『思考という名の戦場』で教えている真理を強く固めることを目的としています。

本書は、Q&A形式(設置された質問に回答する形式)で書かれています。また、本で教えている真理に思いを巡らし、その真理を人生に適用するためのスペースを設けています。『思考という名の戦場』の各章と指定された聖書箇所を読み、その後スタディーガイドの質問に答えることで、その真理をより深く理解できるので、どのように実生活に組み込むことができるかをスムーズに学ぶことができるようになっていきます。

本スタディーガイドを活用するには、まず『思考という名の戦場』の該当する章を読みます。次に、スタディーガイドで指定された聖書箇所をご自分の聖書で読みます。これがとても大切なステップです。なぜなら、それぞれの聖書箇所は各章から直接抜粋されたもので、その章での教えの基盤となっているからです。

スタディーガイドの質問に回答する際は、『思考という名の戦場』の該当する章または、あなたの実生活に触れて回答しましょう。

1.心地良いペースで進めましょう。早く終わらせようと焦ってはいけません。その章の題材とそれがあなたの人生にどう関連しているかを完全に理解できるまではその章に留まりましょう。

2.本スタディーガイドのそれぞれの章で、1.のやり方に従いましょう。

3.本スタディーガイドは、個人の学習はもちろん、グループディスカッションでも使用しましょう。グループで使用する際は、自分たちの回答について話し合うことによって、学んだ真理をどのように自分の人生に適用するか、他の人の経験談を聞くまでは思いもよらなかったような新しい方法を学ぶことができるでしょう。

本スタディーガイドの各章に以下のセクションを設けています。

・**準備をしよう**：始めにある聖書箇所と本を読む態勢を整えます。いくつかの章では、前の章について振り返り、あなたの思考にどのような変化があったかを確認する役割も果たします。

・**位置について**：このセクションでは章の"核心"に触れ、真理をより深く理解していきます。

・**いざ戦いへ**：このセクションに取り組むのに必要なものは、行動です!真理を日々の生活に当てはめて、実践していけるように促します。

・**覚えよう**：この最終セクションでは、章の要点および聖書箇所を簡潔にまとめています。ここに出てく

る短文や聖書箇所を、暗記カードに書き写していつでも見られるようにしておくことをおすすめします。特にこの真理を考え方に適用したければ、暗記してしまうのも良いでしょう。

本書に、一貫した姿勢で着実に取り組むことは、あなたの思考が神様のことばへと一新されていくプロセスの助けとなることでしょう。ネガティブ(否定的)だったり、間違った考え方のパターンが、徐々に神的な考え方に変化していくことを感じられるはずです。考え方を一新することによって、一生背負い続けるしかないと思っていたものを、あなたは変えることができるようになるでしょう。

神様の素晴らしい計画の中を歩む

サタンがあなたに持ち込むネガティブな考えを克服して、自由と平和を手に入れるためには、私たちの考えを神様の考えに一致させていくことが必要不可欠です。私たちは神様のことばを知って、自分が考えていることを神様が考えていることと見比べることができるようにしましょう。あなたの考えの中にあるもので、神様のことばより上に抜きん出ようとするものはどんな考えであれ、それを回心させて、イエス・キリストに従わせるのです。このプロセスには時間を要します。しかし、このスタディーガイドで紹介する、神様に導かれ、神様に力付けられた真理が、あなたの目標達成の助けとなることを私は信じています。

それらの真理をよく学び、よく祈ることをあなたに励ましたいです。そして、学んだことをあなたの人生に適用しましょう。また、あなたの霊の目(あなたの心)を聖霊に開いてもらい、神様の知恵と啓示を受け取ってください。そうすることで、悪魔が仕掛けた戦争にあなたは華麗なる勝利を収め、あなた自身の思考という名の戦場において大勝利を掲げることを信じています。

もしあなたが、不安、疑念や疑問、困惑、絶望、怒り、罪悪感に悩んでいる数多くの人たちの一人なら、あなたは思考への攻撃を経験しています。しかし、一生そのように生きる必要はありません!悪魔は、全ての人に間違った考えを投げかけてきますが、あなたがそれを受け入れる必要は一切ないのです。

私の祈りは、あなたが『思考という名の戦場』の本と共にこのスタディーブックに取り組むことで、自分の考えを神様の考えと見比べることができるように、自分が考えていることを考え始める必要があることがあなたの心の中でいつまでも強くなることです。思考を新たにするこのプロセスは、時間を要しますが、努力する甲斐は十分あります。

思考という名の 戦場

スタディーガイド

第1部

思考の重要性

第1部

思考の重要性 - イントロダクション

この本は読み易く、イエス・キリストとの関係によってもたらされる新たな人生を歩むために必要となる基礎的な真理の一つが書かれています。

聖書では、「思考が私たちの全行動のリーダーまたは先駆者である」と明確に述べています。箴言23:7では、「心の中で考えていることが、その人そのものである」と教えています。(ローマ8:5も参照) 神様の言葉によって思考を新たにするなら、ローマ12:2が約束するように、私たちの人生にとって『何が善で受け入れられ、神様の完全な思い』なのかを自分自身に証明することになるのです。もし私たちがネガティブな考えにとらわれ続けるなら、ネガティブな人生を送ることになるのです。

神様は、私たちが真の人生の豊かさを体験することを望んでイエス・キリストを送り、彼を信じる全ての人が、それを受け取ることができるようにしました。しかし悪魔は、私たちがその神様からのプレゼントを受け取ることの一切を阻止しようとしています。全ての行動は、思考の直接的な結果であるため、悪魔の戦略は、私たちの思考の中で神様の真理の言葉を否定する爆弾を仕掛けて戦争を起こすことなのです。悪魔は、私たちに真理をねじ曲げた考えを信じ込ませ、不利益な行動パターンに私たちを陥れる、もしくは人生に影響を与えるほどの要塞に私たちを閉じ込めようとしているのです。

戦場は、思考です。そして、2コリント10:4-5では神様が私たちに与えてくれている武器について『要塞を屈服させ、撃ち壊すもの』と説明しています。このスタディーガイドではこの武器の使い方を伝授していきます。神様があなたに用意している素晴らしい計画を思考の中で見始めた時に、あなたはその計画を歩み始めるのです。

思考という名の戦場 スタディガイド

1. 2コリント10:4-5、箴言23:7を読みましょう。

なぜあなたの思考(考え)が大切なのでしょうか？

2. ローマ8:5を読みましょう。

私たちの行動はどのように思考と関係していますか？

3. ローマ12:2を読みましょう。

もし神様の言葉によって私たちの思考を新たにするなら、どのように人生が変わるのでしょうか？

4. 2コリント10:4-5をもう一度読みましょう。

私たちは、自分の考えと神様の思いとの違いをどのように知ることができますか？

第1章

思考は戦いの場

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第1章を読みましょう。

少し時間をとって、この章の中であなたにとって特に印象に残った内容を書き出し、じっくりと考えてみましょう。あなたの考えを下に書きましょう。

準備をしよう!

第1章の始まりの聖書箇所、エペソ6:12、ヨハネ8:44を様々な聖書訳で読んでみましょう。

その後、質問に答えましょう。

悪魔はどのようにして私たちが滅ぼそうとしますか？

イエスは、悪魔のことを何と呼びましたか？

思考という名の戦場 スタディガイド

(悪魔は)私たちが何が好きで何が嫌いか心得ています。それだけでなく不安に思っていること、弱さ、恐れていることなど、よく調べ上げています。また、どんなことでイライラするのも知っています。私たちが滅ぼすためなら惜しみなく必要なだけ時間を費やすのです。すなわち忍耐こそ、悪魔の最も得意とすることの一つなのです。(8ページ)

悪魔は、私たちが滅ぼすためにどのような方法で戦いを仕掛けてきますか？

『忍耐こそ、悪魔の最も得意とすることの一つ』という箇所について説明しましょう。

2コリント10:4-5を読みましょう。

『要塞』とは何でしょうか、また、悪魔はそれをどのようにして私たちの思考の中に築こうとしますか？

位置について！

9-14ページに書かれているメアリーとジョンが直面した要塞の例え話を読んで、あなた自身が実際に要塞で苦しんだ経験をあげましょう。

第1章 - 思考は戦場

あなたが直面した要塞はどこからどのようにして現れたと思いますか？

ヨハネ8:31,32、マルコ4:24を読みましょう。

どのようにして要塞を打ち壊し、克服することができますか？

要塞を克服するために神様のことばという武器をどう使うべきですか？

なぜ、祈りと賛美が要塞を打ち壊すための効果的な武器となりますか？

要塞を打ち壊す他の方法は何でしょうか？

真理は常に、神のことばである聖書を通して明らかにされます。しかし残念なことに、真理が示されたからといって、それを素直に受け入れることができる人ばかりではありません。なぜなら、自分の欠点と向

思考という名の戦場 スタディガイド

き合い、それを克服するよう努力することは痛みを伴うからです。人間は、自分の行動に非があるとわかっていても、どうにかして自分を正当化したいものです。だから、過去の出来事や自分が育った環境を言い訳にして、「そのせいで私の人生はうまくいかないんだ」と決めつけようとするのです。

なぜ自分がこんなにも苦しんでいるのか?過去の足跡をたどれば、その説明はつくかもしれませんが。しかし、それを言い訳にして、自分が束縛されている状況を容認してはいけません。

実を言うと、そのような言い訳は通用しません!なぜなら、イエスは「捕らわれた人々を解放する」と約束しているからです。その約束を果たそうと、いつでもチャンスがうかがっているのです。もしあなたに、最後までイエスと共に歩み続ける意志があるのなら、ゴールラインのその先にある勝利へと、イエスは必ず導いてくれるのです。(17,18ページ)

この文章から、神様は貧しい人々、捕らえられた人々、盲目の人々、虐げられた人々やその他の人々に対して何を約束していますか?

いざ戦いへ

神様が戦いに負けることは決してありません。神様の戦略は完全無欠で、私たちが従いさえすれば、勝利は確実なのです!神様への称賛と賛美は敵をくらます戦闘陣地です。こうして、私たちが陣地を勝ち取る時、敵の敗北を目の当たりにするのです!

ルカ4:18,19を読みましょう。

この1節から、神様は貧しい人々、捕らえられた人々、盲目の人々、虐げられた人々、またその他の人々に対して何を約束していますか?

第1章 - 思考は戦場

ジョンとメアリー(本参照)が対立してしまっている問題から自由になるためには、何をすることができますか？

1コリント10:13を読みましょう。

この聖書箇所では、神様について何と書いていますか？

また、要塞を打ち壊している時に直面する誘惑、試練について何と書いていますか？

覚えよう

戦争が起きています。戦場はあなたの思考です。しかし最高の知らせがあります。それは神様があなたの側で戦っているということです。

あなたがたの生活の中に入り込む誘惑は、別に新しいものでも、特別なものでもないということです。ほかにも多くの人たちが、あなたがたよりも先に、同じ問題にぶつかってきたのです。どんな誘惑にも抵抗するすべはあります。神様は決して、とても打ち打ちできないような誘惑や試練に合わせたりはなさいません。神様がそう約束されたのであり、その約束は必ず実行されるからです。神様は、あなたがたが誘惑や試練に忍耐強く立ち向かえるように、それから逃れる方法を教えてください。

1コリント10:13 (リビングバイブルより)

第2章

必要不可欠なもの

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第2章を読みましょう。

準備をしよう!

始めの聖書箇所である箴言23:7を声に出して読みましょう。

この聖書箇所はあなたにとってどのような意味を持ちますか？

あなたは以下の意見に同意しますか？

「否定的な考え方をしているなら、決して肯定的な人生を送ることはできないのです。」

あなたが同意または反対する理由を述べましょう。

ローマ8:5を読みましょう。

クリスチャンとして成功した人生を送るために、肉なる思い、間違った考え、そして否定的な思いの代わりに必要不可欠なものは何でしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

もし、長年にわたり間違った考え方をしてきたために、あなたの人生が今混沌とした状態にあるなら、それを整えるために何ができますか？

長年にわたり間違った考え方をしてきたため、あなたの人生は今、混沌とした状態かもしれません。もしそうならば、「考え方を正しくしなければ、人生も正しくならない」という真理をはっきりつかんでほしいと思います。これこそ、「必要不可欠なもの」であることを、心に深く刻んでください。「私の頭の中にサタンが築き上げた要塞を打ち砕くんだ!」という意気込みで、どうか真剣に取り組んでください。神のことばと賛美、そして祈りという武器を用いて、今こそ要塞を打ち砕いていきましょう。(22ページ)

位置について!

ゼカリヤ4:6を読みましょう

要塞から解放されるために、決断をするだけでは不十分なのであれば、他に何が必要ですか？

正しい考えを持つことが、心臓の鼓動や血液の流れと共通しているのはどのような点ですか？

自由になるためのベストな方法は、とにかく神様に願い求めることです。いつでも、どんなことでも、とにかく神様にお願いするのです。

戦いのための武器の1つは祈り(求めること)です。固い決意をただけでは、状況を克服することは

第2章 - 必要不可欠なもの

きません。確かに、自分の意志を固めるのは必要なことです。しかし、自分の力で決意をするのではなく、聖霊によって決意をすることが重要なのです。聖霊は、あなたの助け手であると聖書は語っています。だから、大いに助けを求めて行って良いのです。どんな時でも、神様に頼って良いのです。自分ひとりでは、決して克服することはできないのですから。(23ページ)

思考の中で戦うために日常的に神様に助けを求める習慣を身につけましょう。
あなたの祈りを下に書き出しましょう。

いざ戦いへ

マタイ12:33を読みましょう。

"木はその実によって見分けられる"というフレーズが私たちの人生と、どのように関係しているのか説明しましょう。

生活態度を見ることで、その人の思考パターンについて知ることができますか?説明しましょう。

肉体が生きていくためには、心臓が脈を打ち続けることが必要不可欠です。それと同じように、霊的生活を維持するためには、神様との時間をライフスタイル として持ち続けることが必要不可欠なのです。神様との親密な時間が、自分の霊的生活になくってはならないものであることに、神様は気付かせてくれまし

思考という名の戦場 スタディガイド

た。それからは、どんな用事があっても、まず神様との時間を最優先させるようになりました。(23ページ)

今後の人生の中で神様との時間を最優先させていくために、これからあなたは何をしますか？

覚えよう

心の中にある思いこそが、あなたそのものなのです。

『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。』と万軍の主は仰せられる。

ゼカリヤ4:6(新改訳)

第3章

あきらめないで!

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第3章を読みましょう。

準備をしよう!

神様との時間を優先的に持つようになってから、どのような変化が起きましたか?
説明しましょう。

始まりの聖書箇所であるガラテヤ6:9を読み、質問に答えましょう。
なぜ、疲れ果てたりあきらめたりしないことが、大切なのでしょうか?

イザヤ43:2を読みましょう。
私たちが経験する困難について、神様が私たちに約束していることは何でしょうか?

思考という名の戦場 スタディガイド

あきらめることは簡単です。

私たちは、どうしたら困難を乗り越えることができますか？

戦いが難しい状況に陥った時に、あなたがあきらめないことを忘れないための聖書箇所や歌の歌詞を書き出しましょう。

あなたが今どんな状況に直面していたとしても、私はあなたがあきらめずに最後まで走り抜けることを励ましたいのです。

ハバクク3:19を読むと、自分の足を「雌鹿のような足」に鍛え上げるためには、どうすれば良いかわかります。雌鹿は、どんな山でもすばやく駆け上ることができる動物です。そのような力強い足を手に入れるには、「[恐れてただ立ち尽くすのではなく、]歩き続けて、[困難や苦悩、あるいは責任という名の]頂上に向かって[霊的な]前進を続けること」が大切なのです。

神様は、どのようにして私たちの霊的な成長を助けてくれるのでしょうか。それは、どんな時にも私たちと共にいて、困難な中でも励まし続けることによってです。

「あきらめずに歩み続けて。」と励まし、力を与えながら、私たちが霊的に成長させてくれるのです。

(28ページ)

第3章 - あきらめないで

位置について!

申命記30:19、箴言18:21を読みましょう。

日々の生活の中で私たちにとって何が正しく、何が間違っているのかをどのようにして判断することができますか？

私たちは、どうしたら死を選ぶことを避けられますか？

時には、頭の中で繰り広げられる戦いが激し過ぎて、苦しくなる日もあるでしょう。そんな時は、「自分にはもう無理!」と感じてしまうかもしれません。そうなってしまった場合には、すぐにそのネガティブな考えを打ち砕いて、「絶対克服できる!」と考える選択をすれば良いのです。また、それと同時に「途中で絶対にあきらめない」と決心することも重要です。たとえ疑いや恐れが攻撃してきても、「私は絶対にあきらめない! 神様は私の味方で、私を愛していて、私を助けてくれるのだから!」と宣言して、どんな時にも堅く立ち続けることが大切なのです。(29ページ)

申命記1:2、6-8を読みましょう。

なぜ、イスラエルの民は11日間の道のりに40年もの歳月がかかったのでしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

では、この問題が現代の私たちの霊的な歩みとどのように関係していますか？

いざ戦いへ

神様がイスラエルの民に「あなたがたはこの山に長くどどまっていた。」と語りかけた時、神様が本当に意図していたことは何でしょうか？

では、神様は今のあなたに何と語りかけていますか？

あなたはこの『山』から立ち去り、人生を先に進んで行く心の準備ができていますか？あなたの生活で今後、違うやり方であることを書き出してみましょう。

私たちが神様の言葉によって思考を一新するにつれて、考え方と人生の全てのエリアにおいてポジティブな変化を見始めることができるでしょう！

みなさんにこう勧めたいのです。「自分の思考を新しくすること」、「考える内容を注意して選ぶこと」、

第3章 - あきらめないで

これらを心に固く決意してください。そして、勝利を得るまでは決してあきらめずに、途中で挫折しないと心に決めるのです。そうすれば、あなたは約束のものを、神様から必ず受け取ることができるはずです。

(31ページ)

覚えよう

あきらめるのは簡単です。しかし、そこを切り抜けていくためには、信仰が必要なのです。

さあ、天と地が証人です。どちらを選びますか。生きることですか、それとも死ぬことですか。祝福ですか、のろいですか。もちろん、あなたのためにも子孫のためにも、生きるほうを選ぶべきです。

申命記30:19 (リビングバイブル)

第4章

一歩ずつ前進

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第4章を読みましょう。

準備をしよう

あきらめないと決意した今、あなたの考え方に何か変化はありましたか？
また、それはどのような変化ですか？

始まりの聖書箇所である申命記7:22を読んで、質問に答えましょう。
なぜ神様はイスラエルの民に対して、敵を『少しずつ、徐々に』追い払うと言ったのでしょうか？

思考が一新されるプロセスも同様に『少しずつ、徐々に』行われるのは、なぜでしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

私たちがあまりにも簡単に多くの自由を手にした時に、私たちを襲う『獣』とは何でしょうか？

位置について！

なぜ、私たちは「しばらくの間」苦しみにあう必要があるのでしょうか？その期間を体験することで、イエスにしか解決できない問題があるのだということに、私たちは気付くのです。苦しみを耐え抜いた末に手に入れる自由は、私たちにとってより 意味のある喜びとなるでしょう。自分の力で何かを達成しようとして、それが失敗に終わる時、私たちは神様を待ち望むことの必要性に気がきます。そして、神様が立ち上がり、自分では手に入れることのできなかつた勝利へと導き入れてくれる時、私たちの心は感謝と賛美で溢れ返るのです。(34ページ)

1ペテロ5:10を読みましょう。

なぜ「しばらくの間」苦しみにあう必要があるのかについての私の解説に賛同しますか？また、それについて説明してみましょう。

ローマ8:1を読みましょう。

歩き始めの赤ちゃんを見て私たちが学べることは何でしょうか？

第4章 - 一歩ずつ前進

悪魔はどのようにしてあなたが思考を一新することを阻もうとしますか？

悪魔の試みを止めるためにあなたは何ができますか？

肉に従って進むとは...

霊に従って進むとは...

たとえ失敗して挫折を味わったとしても、自分を敗北者のように思う必要はありません。失敗知らずの完璧な人など、この世には存在しないのですから。どんな人にも、長所もあれば短所もあります。その事実を素直に受け入れ、自分の弱さのうちに、キリストの強さを完全に現してもらいましょう。自分が弱気な日には、キリストの力をあなたの強さにすれば良いのです。(35ページ)

思考という名の戦場 スタディガイド

いざ戦いへ

「絶対がっかりなんかしない!自分を責めたりもしない。聖書には、あなたも私のことを責めないって書いてあるから。天のお父さん。あなたは、イエスをこの世に遣わしてくれたわ。イエスは、私のために十字架でいのちを捧げてくれた。今日は、きっと良い日になる。今日1日、正しい考えを選択できるように、あなたが必ず助けてくれることを信じてるわ。」(37ページ)

自分を責めたり落ち込んだりしないためのあなたの計画を、助けとなる聖書箇所を含めて書きましょう。

あなたを助けてくれる聖書箇所を書き出しましょう。

覚えよう

私は、神様を信じます。私が何を感じて、状況をどう見てるかにかかわらず、神様が私の中で働いてくれていることを信じます。

持久力、耐久力、そして忍耐力を十分に養いなさい。さまざまな問題が持ち上がった時、そこから逃げ出そうともがいてはいけません。忍耐力が十分身につけば、完全に成長した、どんなことにもびくともしない(欠点のない)、強い人になれるでしょう。

ヤコブ1:4 (リビングバイブルより一部強調)

第5章

ポジティブにいかう

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第5章を読みましょう。

準備をしよう!

考え方は少しずつ変わっていますか?それについて説明しましょう。

始まりの聖書箇所のマタイ8:1-13を読み、あなたの言葉でこのお話を説明しましょう。

なぜ、「あなたの信じたとおりのことが起こっています。」とイエスは男に言ったのだと思いますか?

思考という名の戦場 スタディガイド

このイエスの言葉が現代の私たちにどのように適用されるでしょうか？

自分の人生をポジティブにとらえることから始めてみてください。どんな状況に直面しても、常にポジティブに考える練習をしてみましょう。その時は喜べないような状況だったとしても、神様が聖書の中で約束してくれたように、そこから自分にとってプラスになるものが与えられると信じて期待しましょう。

(43ページ)

ローマ8:28、12:16を読みましょう。

この聖書箇所を通して、聖書は『すべてのこと』についてどう言っていますか？

物事が自分たちの計画通りに進まない時、私たちはどのように反応すべきですか？

2コリント5:17を読みましょう。

多くの人は、将来について否定的になってしまうような悲劇を経験したことがあると思います。

この聖書箇所では、そのような状況の中で、どう反応すべきだと言っていますか？

第5章 - ポジティブにこう

ヨハネ16:7-8を読みましょう。

なぜイエスは、彼が去って行くことが、私たちにとって「良いこと」だと言ったのでしょうか？

あなたは、すでに「新しい人間」なのです。だから、過去の古いものが新しい生活に悪影響を与え続けるのを、黙って見過ごす必要はありません。あなたは、キリストにある新しい命を与えられ、神様によって新しく造られた者なのです。神のことばによって、自分の考えや思いを一新していきましょう。そうすれば、あなたの人生には、次々と良い事が起こり始めるはず。さあ、一緒に喜びましょう！新しい日がやって来たのです！（46ページ）

いざ戦いへ

ピリピ1:6を読みましょう。

イエスはここで、聖霊は私たちのために何をしてくれると教えていますか？

神様が私たちの内で始めた働きについて、聖書は何と言っていますか？

もちろん、私たちの祈りが答えられ、多くの祝福が与えられることを信じて待ち望んでいます。しかし、それ以上に、私たちが信じるものがあります。それは、イエス・キリストの存在です。これから先、何が起こるのか、すべてを知ることはできません。それでも、100%の確信を持ってこう言えるのです。「どんなことが起こっても、神様がすべてを共に働かせて、人生のプラスにしてくれる。」

思考という名の戦場 スタディガイド

ポジティブで肯定的になればなるほど、私たちは神様の流れに乗っていけるようになります。神様がポジティブで、肯定的な存在であることは明らかですよね。だから、私たちも神様の流れに乗りたいのなら、神様のようにポジティブであることが必要なのです。(50、51ページ)

使徒17:11を読みましょう。

どのようにして健康的でバランスの取れた考えを持つことができますか？

ローマ4:18-20、ヘブル6:19を読みましょう。

ポジティブになることは決して現実を無視することではありません。

希望を失わずに、不可能な状況と向き合うには、どうすべきでしょうか？

魂の錨とは何でしょうか？また、それはどのように私たちの助けとなりますか？

イザヤ30:18、箴言15:15を読みましょう。

これらの聖書箇所から読み取れる、私たちへの神様の望みは何でしょうか？

第5章 - ポジティブにこう

神様からの祝福を受け取るために、私たちは何をすべきですか？

ネガティブなことを話してしまう罪をなかなかやめられずにいるかもしれません。そのように話してしまえば、神様に助けを求めましょう。自分についてネガティブに話してしまうことは、神様があなたのために用意している良いものを受け取る妨げとなってしまいます。

たとえ、状況が何も変わっていなかったとしても、今まであなたがネガティブに言ったり考えたりしていた物事について、使う言葉や考えを変えましょう。

1ペテロ3:10を読みましょう。

この聖書箇所では、人生を楽しみ、幸福な日々を送りたいのであれば何をすべきだと言っていますか？

あなたは、どのようにこの聖書箇所を日々の生活に組み込んでポジティブに話すことを習慣づけますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

覚えよう

邪悪な予感に気を取られ、あなたの視野を曇らせてはいけません。むしろ、そんな予感は蹴散らしてしましましょう。無敵で力強いイエスの名によって！

聖書にこうある。良い日に恵まれ、人生を謳歌したいなら、とげや嘘(裏切り、偽り)を口からこぼさないように。

1ペテロ3:10 (ALIVE訳より一部強調)

第6章

思考を縛る霊

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第6章を読みましょう。

準備をしよう!

あなたの置かれている状況についてポジティブに考え、語ることで何か変化はありましたか？
また、それについて説明しましょう。

始まりの聖書箇所、ピリピ4:6-7を読みましょう。
どうしたら私たちは神様の平安を経験することができますか？

ヨハネ8:31-32、詩篇107:20を読みましょう。
どうしたら私たちは思考を縛る霊を克服することができますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

あなたの心の状態に、どんな時も目を向けていてください。そして、あなたの心がいつも自由で、平安で、信仰に満ちているように心がけましょう。(59ページ)

あなたの思考をチェックしてみましょう。自由で、平安で、信仰に満ちていますか？
答えについて説明しましょう。

位置について!

ローマ8:26、ヤコブ1:2-8を読みましょう。
クリスチャンとして、なぜ私たちは信じる決断をすることが必要ですか？
すべてを頭で理解できていない時、どのようにして私たちは信じることができますか？

試練を通っている時、私たちはどうするべきですか？

前進し続ける限り、悪魔は私たちに向かって火の矢を投げ続けます。悪魔はあきらめることなく、これからも私たちが攻撃し続けることでしょう。だからこそ、ヤコブ1:2-8を思い出し、信仰の盾を掲げるのです。そして、試練の時には神様に知恵を求め、どうするべきか道を示してもらいましょう。(61ページ)

第6章 - 思考を縛る霊

ヤコブ1:2-8を様々な聖書訳で読んでみましょう。

あなたにとって印象に残った言葉を書き出しましょう。

いざ戦いへ

あなたが今この本を手に行っているのは、偶然ではありません。そうなるように、神様が導いたのです。あなたも、昔の私と同じような問題に悩んではいませんか?もしそうだとしたら、ぜひ力強いイエスの名によって祈ってください!イエスの血潮の力によって、神様の思いを見えなくさせる悪霊に対抗していくのです。心がくじけて信じることができなくなるたびに、「思考を縛る霊」に対抗して、何度でも祈れば良いのです。たった一度だけではありません。困難に直面するたびに、何度でも祈って良いのです。(61ページ)

今あなたの思考を縛っている霊をできる限り書き出してみましょう。

それぞれの問題について神様が知恵をくれるように、祈りを書きましょう。

祈りによって得られた洞察や変化を書き留めましょう。

思考という名の戦場 スタディガイド

覚えよう

あなたの心の状態に、どんな時も目を向けていてください。そして、あなたの心がいつも自由で、平安で、信仰に満ちているように心がけましょう。

主のひと声で病気はたちどころに治り、死の入口から引き上げられました。

詩篇107:20 (リビングバイブル)

第7章

今何を考えているのか考えてみる

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第7章を読みましょう。

準備をしよう!

始まりの聖書箇所、詩篇119:15を読みましょう。私たちが時間をかけてゆっくりと考えるべきことは何でしょうか？

詩篇1:3を読みましょう。神様のことばについてじっくり思いを巡らすことで私たちが得られる益とは何でしょうか？

詩篇1:3で描写されている木を描いてみましょう。あなたはこのイメージから何を感じますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

神のことばである聖書に思いをはせるのは、とても良いことです。神のことばに時間を費やした分だけ、そこからより多くの収穫を得ることができるのです。(63ページ)

位置について!

マルコ4:24を読みましょう。

以下の文章は私たちに何を教えていますか？

"時間をかけて神のことばを読み、聞き、それについて思いを巡らせ…。それをすればするほど、私たちはより多くの「力」と「能力」を神様から受け取り、聖書への理解がさらに深められるというのです。"

なぜ多くのクリスチャンたちは本当の勝利を体験できていないのでしょうか？

詩篇1:1-2、箴言4:20を読みましょう。

私たちはどのように神様のことばに耳を傾けますか？

第7章 - 今何を考えているか考えてみる

『継続は力なり』という古いことわざは、どのような点でイエスの教えと共通していますか？

ヨシュア1:8を読みましょう。

この聖書箇所は、成功することと繁栄することについて何とっていますか？

悪魔はどのようにして人々の人生を操りますか？

エペソ2:3を読みましょう。

この聖書箇所を通して使徒パウロは私たちにどのような警告をしていますか？

なぜ私たちは自分が考えていることについて考える必要がありますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

詩篇48:9、詩篇143:4-5を読みましょう。

憂うつや悲しみにくれるような感情に対してダビデ王はどのような反応をしましたか？

どうしたら私たちは憂うつや悲しみにくれるような感情を克服することができますか？

ローマ12:2を読みましょう。

なぜ思考を一新することが不可欠なのでしょうか？

この聖書箇所では、どのようにして思考を一新していくべきだと教えていますか？

ピリピ4:8を読みましょう。

なぜ私たちは良いことについて考えるように指導されているのでしょうか？

第7章 - 今何を考えているか考えてみる

人々が抱える惨めさの原因について、悪魔はどのように彼らを騙しますか？

自分が考えていることについて考えることはどのように私たちを助けることができますか？

第2部

心の状態

第2部

心の状態 - イントロダクション

心の状態は変動するということに気が付いていましたか？穏やかで平安だと思っていたら、急に心配と不安でいっぱいになったり…。絶対的な確信があって決意したことで、しばらくするとその確信が薄れ、次第に不安で心が揺らぎ始めたり…。

心が変動するものなのであれば、私たちの心が正常な状態の時を知ることは大きな助けとなります。そうすれば、正常でない心の状態が現れた時に素早く対応できるからです。

キリストを信じると、その瞬間に私たちの霊は新しく生まれ変わります。しかし、私たちの心と思考は、それと同時に新しく生まれ変わるわけではありません。全く新しい人となりなさい。(ローマ人への手紙12章2節) 私たちが思考を変えることに対して、サタンは激しい戦いを挑んできます。しかし、そこでめげないで、前進し続けることが大切なのです。目に見える勝利を勝ち取るまで、祈り続け、神のことばを学び続けることが成功の鍵なのです。このスタディーガイドの第2部が「イエスの弟子として勝利の人生を歩む」と決心した私たちにとって、何が正常な心の状態で、何がそうでないか、はっきりと見分ける目を開かせてくれると信じています。

第8章

正常な心の状態って？

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第8章を読みましょう。

準備をしよう！

『思考という名の戦場』を読むことによって、より自分の考えていることに気を配るようになっていきますか？また、それについて説明してみましょう。

始まりの聖書箇所、エペソ1:17-18を様々な聖書訳で読んでみましょう。

パウロが私たちの心が『光で溢れる』ようにと祈っているのはなぜだと思いますか？

私たちの心はどうしたら光で溢れることができますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

私たちがキリストを救い主として受け入れた瞬間に、聖霊が私たちの内に宿りました。聖霊は、神様の心を良く知る存在であると、聖書は教えています。その聖霊が私たちの内側に住み、神様の知恵と啓示をダイレクトに授けてくれるのです。「その人の内に宿る霊だけが、その人の思いや考えを知る唯一の存在」であるのと同様に、「神の霊である聖霊だけが、神様の思いや考えを知る唯一の存在」なのです。(80ページ)

1コリント2:11を読みましょう。

その人の内に宿る霊と聖霊について共通することは何でしょうか？

聖霊の目的の1つは何でしょうか？

この聖霊の目的はどのようにして成し遂げられますか？

なぜ聖霊はこのような方法で働くのでしょうか？

第8章 - 正常な心の状態って？

位置について！

1列王記19:11-12をリビングバイブルで読みましょう。
多くの場合、神様は私たちにどのように語りかけますか？

1コリント14:15を読みましょう。
パウロはどのように祈ったと書かれていますか？

1コリント14:13-14を読みましょう。
異言とその解き明かしは、どのように「知性と霊の補い合いの法則」を説明していますか？

クリスチャンである私たちは、「霊的な存在」であると同時に、この自然界に生きる「普通の人間」です。「人間的なもの」は、必ずしも「霊的なもの」を理解できるわけではありません。ですから、私たちに神様からの光が当てられ、心の目が開かれなければ、霊的なレベルで起きていることを理解することはできないのです。聖霊は、私たちに光を与え、神様からの啓示(情報)を知性で理解できるよう助けたいと願っています。しかし、私たちの心はあらゆる雑念にとらわれているため、聖霊のサインを見逃してしまうことが多いのです。余計なことばかり考えて余裕のない心は「異常な状態」です。しかし、心に余裕があり、安らいでいるなら、それは「正常な状態」だと言えます。(休息しているのであり、空っぽな状態ではありません。)(80-81ページ)

思考という名の戦場 スタディガイド

空っぽな心と休息している心の違いを説明してみましょう。

いざ戦いへ

異言で語ることにについて書かれている聖書箇所を読みましょう(1コリント12章、13章、14章)。異言で語ることにあなたが抱えている疑問を全て書き出しましょう。その疑問について信頼できる霊的なリーダーや友達と話し合しましょう。

私は霊によって(私の知らないことばである異言によって)頻繁に祈ります。しばらくそのように祈っていると、自分の理解できる言語(私にとっては英語)で、祈りの課題が心に浮かんできます。これこそが「知性が霊を補っている様子」であると私は思うのです。つまり、知性と霊が共に働くことで、「霊的なレベル」にある神の知識と知恵の語りかけを、「日常的なレベル」で理解することができるのです。(83ページ)

イザヤ26:3を読みましょう。

なぜ悪魔はあなたの心を間違った考えで満たすことで、「負う必要のない重荷」を背負わせようとするのでしょうか？

第8章 - 正常な心の状態って？

心はどのような状態であるべきですか？

あなたの心を休息した正しい状態に保つ方法を3つあげましょう。

覚えよう

正しい思いに留まってこそ、心は休息できるのです。

[日常生活の傾向や性格的な分野においても、]心をあなた(神)にしっかりと結びつける人を、あなたは守り、どんな時にも完全な平安の内に保ちます。なぜなら、その人が自らの意志で、まず最初に自分自身をあなたに捧げ、あなたに頼り、あなたの内に確信と希望を見出しているからです。

イザヤ26:3(AMP訳より直訳)

第9章

さまよい迷う心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第9章を読みましょう。

準備しよう！

あなたは、どのように心を休息状態に保っていますか？

始まりの聖書箇所、1ペテロ1:13を読みましょう。

あなたはどのようにして気を引き締めることができますか？

集中力の無さは、何を意味しますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

集中力の無さの原因をいくつかあげてみましょう。

集中力の無さと理解力の無さの違いは何でしょうか？

多くの人は、「自分の思考をコントロールする」という概念すらないまま、これまで生きてきたのではないかと思います。そのため、心は野放しにされたまま、気の向くままにさまよい続けてきたのではないのでしょうか。(89ページ)

1コリント2:16を読みましょう。

この聖書箇所によると、私たちが『キリストの心』を持っている時、信じる者として、何を共有しているでしょうか？

信じる者として正常でない心の状態の例を1つあげましょう。

第9章 - さまよい迷う心

位置について!

もし、あなたにも私と似たようなところがあるとしたら、こんな経験をしたことはありませんか?教会に参加して、メッセンジャーの語ることばに耳を傾け、そこから多くのことを学び、礼拝を楽しんでいます。しかし次の瞬間、心が突然さまよい始めるのです。しばらくして、ふと我に返ると、その間のことを何も覚えていないのです。あなたの身体は、教会の椅子に座っているのですが、あなたの心は、ショッピングセンターを散歩していたり、家の台所で夕食の支度をしていたりするのです。

霊的な戦いにおいては、心(知性)がまさに戦場なのです。敵は、心に戦いを仕掛けてきます。たとえ教会に参加しても、もしそこで語られる教えに心を集中させることができず、うわのそらで聞いていたら、得るものは何もありません。もし自分の心をコントロールできず、目の前のタスクに心を集中させることができないのなら、その人はプロジェクトを成功させることはできません。私たちの敵である悪魔は、それをよく理解しているのです。(92ページ)

ローマ12:2を読みましょう。

私たちがイエスを信じて新たに生まれ変わる時、私たちの心も同時に、新たに生まれ変わりますか?なぜそう思うのか説明してみましょう。

1ペテロ5:7を読みましょう。

私たちの心は、さまよい、動揺と混乱、または疑いと不信仰に満ちたり、不安、心配と恐怖に支配されているべきでしょうか?なぜそう思うのか説明しましょう。

思考という名の戦場 スタディガイド

あなたの心(考え)を評価してみましょう。どのくらいの頻度であなたは動揺、または混乱しますか?あなたはどのくらいの頻度で疑いや不信仰に支配されますか?どのくらいの頻度であなたは不安や心配を感じますか?

あなたの心が次の状態である時間の割合に応じて円グラフを書いてみましょう。

動揺／混乱、疑い、心配／不安、平安／休息

いざ戦いへ

マルコ11:23-24 (ALIVE訳より一部強調)を読み、下の空欄を埋めましょう。

おまえたちがこの _____ に向かって、“海に入れ”と命じ、
そうすると _____ なら、神が _____ する。
また、求めていることを神に祈り求め、
それがすでに与えられたと _____ なら、 _____ になる!

第9章 - さまよい迷う心

特に信仰や信じることに関して、この聖書箇所はあなたにとってどのような意味を持ちますか？

今、あなたは神様に何を信じて、期待していますか？

あなたが今疑っていることを何でも告白しましょう。そして、神様があなたの信仰と心を新しくしてくれるように祈り求めましょう。

「神様は私の祈りを聞いているかしら？」「私の祈りに答えてくれるかしら？」と、疑いがあなたの心に忍び込んできた時、あなたは何ができますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

覚えよう

今日この瞬間から、目の前のことに心を集中させるよう「自分の足に気をつけよう。」
クリスチャンとして、神様を「信じる」者として、私たちは疑うよりも信じるべきなのです。

おまえたちがこの山に向かって、“海に入れ”と命じ、そうなると信じて疑わないなら、神がそのとおりにする。また、求めていることを神に祈り求め、それがすでに与えられたと確信するなら、その通りになる! [求めているものを、おまえは手に入れるのだ!]

マルコ11:23-24 (ALIVE訳より一部強調)

第10章

混乱した心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第10章を読みましょう。

準備をしよう!

あなたの心がさまよわないように保っていますか?何か変化はありましたか?

ヤコブ1:5-8を読みましょう。

あなたはこの聖書箇所が何を意味していると思いますか?

なぜ、たくさんのクリスチャンが自分で自覚できるほど混乱しているのでしょうか?

「理性(Reasoning)」とは何でしょうか?

思考という名の戦場 スタディガイド

神様が何かするように私たちを導いている時、なぜ私たちは理性に頼るべきではないのでしょうか？

「なぜ？」と疑問に思うことの真相を探る時、人は論理的に考えようとします。しかし、論理的に細かく考えてばかりいると、私たちの心は、目の前の状況や問題の周りを、ただグルグル回っているだけになってしまいます。複雑な詳細まで、すべてを頭で理解しようとしているからです。人の意見や教えを聞いて、それが正しいかどうかを判断するために、人はその理屈を考えます。理屈に合わないと感じた場合は、それを受け入れずに拒絶するのです。

サタンは、私たちが論理的に考えるよう仕向けることで、神様の思いが私たちの人生に実現することを妨げます。例えば、神様が私たちに何かを命じたとします。しかし、それが頭で理解できるような命令ではなく、論理的に納得できない場合は、「それを無視したい」という誘惑に駆られます。神様の思いは、必ずしも、私たちが頭で納得できるようなことばかりではありません。もし、それが普通じゃないことで、喜んで従うことができず、犠牲や不快感を伴うようなことであつたらどうでしょう。たとえ霊においては従えたとしても、心では拒否してしまうかもしれません。(98、99ページ)

位置について!

1コリント2:14を読みましょう。

クリスチャンにとって心の中で、理性に取って代わるものは何ですか？

自己中心的な心と霊的な面の間での葛藤の例を、あなたの体験から一つあげてみましょう。

第10章 - 混乱した心

ヤコブ1:22を読みましょう。

神様が私たちに語りかける時、私たちは何をすべきですか？

聖書を読んで、「それに従いたくない」という思いが湧いてくることがあります。その理由は、私たちの「理性」が関係していると思うのです。人間的な理性が働くことで、神様の真理とは真逆のことを、あたかも真理であるかのように思い込んでしまうのです。聖書が教えることのすべてを頭で理解しようとしても、それは時間の無駄です。しかし、たとえ頭で理解できなくても、それを霊において飲み込むことができれば、私たちは前に一歩踏み出し、神様に従っていけるようになるのです。

(102ページ)

箴言3:5、ローマ9:1を読みましょう。

なぜ、「自分の理性で判断すること」に頼りすぎることは危険なのでしょうか？

人間が好む3つの要素は何でしょうか？また、それらを好むことの何が問題なのでしょうか？

どのようにして、パウロは自分の理性に頼らずに自分が正しいことをしていると知ることができたのでしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

いざ戦いへ

1コリント2:1-2を読みましょう。

人間的な知識や判断に対して、パウロはどのような態度を取りましたか？

なぜこれが現代の私たちにとって良い例となるのでしょうか？

人間的な判断ですべてを理解しようとするのは、神様が私たちに望む「正常な心の状態」ではありません。

もし、自分の中の理屈っぽさが目を覚ましたら、それは「普通ではない」ということを忘れないください。あなたがクリスチャンとして、勝利の中を歩みたいと望んでいるのなら、なおさらのことです。『思考という名の戦場』で繰り広げられる戦いに、あなたが打ち勝つためには、自分の心がいつも正常な状態でいられるよう、心に目を向け続けましょう。(106、107ページ)

あなたは理性で考えることに中毒になっていると思いますか？それについて説明してみましょう。

自分自身の理性よりも、聖霊により頼るためにあなたは何かができますか？

第10章 - 混乱した心

覚えよう

たとえ頭では理解できなくても、「すべてを知っている神様」を私たちは知っているのですから、それだけで心は100%満たされるべきなのではないでしょうか？

心を尽くして主に抛り頼め。[知性を尽くして主に信頼せよ。]自分の悟り[また理解力]にたよるな。
箴言3:5 (新改訳より一部強調)

第11章

疑い深く、不信仰な心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第11章を読みましょう。

準備をしよう!

理性で考えることを手放してから、今までよりも心の平安を体験していますか？
それについて説明してみましょう。

始まりの聖書箇所へと続く、マタイ14:22-31、マルコ6:1-6を読みましょう。
それぞれの箇所できていることを説明してみましょう。

疑いと不信仰のそれぞれがもたらす影響の違いは何でしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

「疑い」「不信仰」は、敵が用いる強力な武器です。そのふたつを比べてみると、次のような傾向が見えてきました。「疑い」は、私たちがどっちつかずの状態、ふたつの意見の間をさまようように仕向けます。「不信仰」は、神様に従わない姿勢を私たちの中に植え付けます。(109ページ)

位置について!

1列王記18:21、ローマ12:3を読みましょう。

悪魔はどのように私たちの信仰を否定しようと試みますか？

なぜ神様のことばを知ることが私たちにとってそんなに大切なのでしょうか？

ローマ4:18-21を読みましょう。

アブラハムはどのようにして悪魔の攻撃に打ち勝ちましたか？

私たちの夢を『中絶』させるために悪魔が用いる武器は何でしょうか？

第11章 - 疑い深く、不信仰な心

それらの武器は何に対して働きますか？

なぜ悪魔は疑いと不信仰によって私たちに攻撃するのでしょうか？

なぜ、私たちの心が霊と一致することが悪魔にとって望ましくないのでしょうか？

疑いは、「神のことばに対立する考え」という形で、私たちの中に忍び込んできます。だからこそ、神のことばを良く知ることが、私たちの大きな力になるのです。神のことばを良く知っていれば、悪魔のうそを見抜くことができます。悪魔のうそは、神のことばとは相反するものだからです。悪魔は、なぜ私たちにうそを吹き込もうとするのでしょうか？それは、イエスが十字架の死と復活を通して、私たちのために勝ち取ってくれたものを盗むためです。そのことを、どうか心に刻んでおいてください。(111ページ)

いざ戦いへ

マタイ14:24-32、ローマ4:18-21、エペソ6:14を見てみましょう。

信仰において、ペテロとアブラハムはどのような点で共通していますか？またどのような点で異なりますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

霊的な戦いの中にある時に、私たちはどうするべきでしょうか？

なぜサタンは私たちの人生に嵐をもたらすのでしょうか？

どうやってサタンに抵抗すればいいですか？

アブラハムは、不可能に見える状況の中でも信仰を捨てませんでした。自分の置かれた状況に、目を背けていたからではありません。むしろ、それをよく理解していました。しかし、ペテロとは異なり、アブラハムの信仰は、状況に影響されて弱まることはなかったのです。そのことについて考え過ぎたり、話し過ぎたりすることはありませんでした。アブラハムは、自分の思いをただ神様にだけ委ねたのです。私たちも、彼と同じように振る舞うことができます。自分の状況を理解した上で、たとえそれが厳しい状況だったとしても、意識的に自分を建て上げることに心に向け、信仰をさらに強めていくことができるのです。(115ページ)

ヤコブ 1:5-7 を読みましょう。

自分の考え以上に、心によって導かれた経験の一つあげてみましょう。

第11章 - 疑い深く、不信仰な心

困難な状況にある時に、神様に賛美し栄光を帰すことを忘れないためにはどうしたらよいでしょうか？

神様の栄光を讃えるために、あなたがコミットしようと思う方法をいくつかあげてみましょう。

覚えよう

私たちは、自分で自分の考えを選択することができます。だから、「疑い」が忍び込んできたら、それを悪魔の策略だとすぐに認識し、「いいえ、いらないわ!」と言い返せるようになりましょう。そして、「疑い」なんて払いのけて、ただひたすら信じ続けていきましょう!

何を選択するのか。その権利は、あなたにあるのです!

この福音は、私たちがキリストを信じる時、神が私たちを天国に入るにふさわしい者、すなわち、神の目から見て正しい者としてくださることを教えています。それは、初めから終わりまで、信仰によって達成されるのです。「正しい人は信仰によって生きる」(ハバクク2:4)と、聖書に書いてあるとおりです。

ローマ1:17 (リビングバイブル)

第12章

不安と心配に駆られる心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第12章を読みましょう。

準備をしよう!

困難な状況の中でも、疑いや不信仰以上に、神様に集中したままにすることができていますか？
それについて説明してみましょう。

詩篇37:8を様々な聖書訳で読んでみましょう。あなたが最も語られた聖書訳を書き写しましょう。
その聖書箇所を暗記し、いつでも心配しそうになった時に繰り返しましょう。

ガラテヤ5:22、ヨハネ15:4、マタイ6:25-34、ピリピ4:6、1ペテロ5:7を読みましょう。
不安と心配とは何でしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

平安とは何でしょうか？

私たちはどのようにして神様の平安を手に入れることができますか？

イエスは言いました。「私はぶどうの木、あなた方はその枝です。」(ヨハネ15:5)もし枝が木から切り離されたらどれだけ生きていられるでしょうか？私たちがイエスに繋がっている時、私たちは神様の守りと休息の中にいます。イエスに繋がった人生は、平安と休息に満ちた、実りの多い人生なのです。さあ繋がって、神様があなたの問題を解決している間、自分の人生を楽しもうではありませんか！

マタイ6:25、ヨハネ10:10を読みましょう。

この聖書箇所では、「いのち」はどんなものだと言っていますか？

あなたの人生はヨハネ10:10とどのように比べられますか？

より満たされた人生を生きるには、何をすべきだと思いますか？

第12章 - 不安と心配に駆られる心

なぜサタンは心配を使って私たちを攻撃するのでしょうか？

マタイ6:25-30を読みましょう。

この聖書箇所は、心配について私たちに何を教えていますか？

位置について！

マタイ6:31、12:34(新改訳)を読みましょう。

私たちの心を間違った思いで十分に満たすことさえできれば、ゆくゆくはあることが起こると敵は知っています。何が起こるのでしょうか？

マタイ6:32-33を読みましょう。

世の中は『物欲』を満たすことばかり考えます。では私たちは何を求めるべきなのでしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

マタイ6:34を読みましょう。

なぜ私たちは明日の心配をして今日を過ごすべきではないのでしょうか？

ピリピ4:6、ヘブル4:12、エペソ6:17を読みましょう。

神様のことは私たちの剣です。なぜそれを敵に立ち向かって使うべきなのでしょう？

どのくらいの頻度であなたは剣を使って敵に立ち向かっていますか？

あなたが剣を使った経験を、その結果も交えて1つあげてみましょう。

「人生において、心配する必要は一切ない」と、マタイ6:25は教えています。そうです。心配する必要は一切ないので！神様は、私たちに最高ないのちを与えてくれました。それが、すべての必要を満たしてくれるのです。しかし、もし私たちが心配ばかりしていたら、必要なものも、神様がくれた最高の人生も、結果的に失うことになってしまうのです。(128ページ)

第12章 - 不安と心配に駆られる心

いざ戦いへ

2コリント10:5を読みましょう。

不安と心配との戦いに勝つために用いられる最も有効な武器は何でしょうか？

1ペテロ5:6-7を読みましょう。

なぜ、心配する人は謙遜の人ではないのでしょうか？

全ての状況において私たちの最初の反応はどうあるべきですか？

あなたが過去に心配した時や状況を思い浮かべてみましょう。

人生と心に平安を保つことを求める今のあなたなら、当時とどのように違った方法でその状況に対処すると思いますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

覚えよう

心配しても何の解決にもならないなら、心配なんてやめてしまいませんか？

だいたい、どんなに心配したところで、自分のいのちを一瞬でも延ばすことができますか。

マタイ6:27 (リビングバイブル)

第13章

人を非難しやすく、批判的で疑い深い心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第13章を読みましょう。

準備をしよう!

以前よりも心配することが少なくなりましたか?説明しましょう。

マタイ7:1(ALIVE訳)を読みましょう。

人を裁く(非難する)とはどういう意味でしょうか?

なぜ人を裁く(非難する)ことは間違っているのでしょうか?

思考という名の戦場 スタディガイド

あなた自身が誰かに裁かれた(非難された)経験について説明しましょう。

あなた自身が誰かを裁いた(非難した)経験について説明しましょう。

人に裁かれ(非難され)、人を裁いた(非難した)経験から何を学ぶことができますか？

人を非難したり、人に判決を下す権利を持つのは、ただ唯一、神様だけです。もし私たちが他人を裁き、非難するなら、それは「神様の立場に自分を置いている」と同じことなのです。(144、145ページ)

ローマ12:3を読みましょう。

人を裁いたり(非難したり)、批判的になる根本的な原因は何でしょうか？

第13章 - 人を非難しやすく、批判的で疑い深い心

私たちがいる分野において優れることができる唯一の理由は何でしょうか？

あなたが優れることができる理由を覚えておくことが、どのようにしてあなたが人を裁くことから遠ざけますか？

位置について！

ガラテヤ6:1-3を読みましょう。

この聖書箇所では、私たちの内にどのような心構えを保つべきだと言っていますか？

ローマ14:4を読みましょう。

神様はどのようにして私たちの弱さの助けとなりますか？

思考という名の戦場スタディガイド

心の中で人への意見を持つことは間違いでしょうか？

どのようにして人を裁いたり批判的になる行動を変えることができますか？

マタイ7:1-2、ガラテヤ6:7を読みましょう。

『種蒔きと刈り取りの法則』は、どのようにあなたの考え方に当てはまりますか？

マタイ7:3-5を読みましょう。

私たちが人の欠点を非難して、そのことばかり気にするように仕向けることを、なぜ悪魔は好むのでしょうか？

どのようにして批判的な考えは、ネガティブな心の結果なのでしょう？

第13章 - 人を非難しやすく、批判的で疑い深い心

自分の行動に関しては何かと言いつつ、誰かがそれとまったく同じ行動を取った場合、相手に対して容赦のない見方をしてしまうのです。マタイ7:12にある「人からしてほしいと思うことを、そのとおり、人にもしてあげなさい。」(リビングバイブル)という教えは、すばらしい人生の教訓です。これを守っている限り、人を非難したり、批判したりすることはなくなるはずです。

人を非難し、裁いてしまう心の根底には、ネガティブで否定的な心が存在します。人の正しい面に目を向ける代わりに、どこが間違っているかを常に考え、あら捜しをしているのです。

だから、ネガティブではなく、ポジティブで肯定的な考え方をいつも養っていきましょう!

そうすることが人のためであり、何よりも、あなたのためなのです。(155ページ)

いざ戦いへ

1コリント13:7を読みましょう。

非難し、批判的で、疑い深い心に対する答えは何でしょうか?

『心のバランスのとれた態度』を持つとはどのような意味でしょうか?

1ヨハネ2:23-25、1ペテロ5:8、1コリント12:10を読みましょう。

人々との関係におけるイエスの態度はどのようなものでしたか?

思考という名の戦場 スタディガイド

なぜ私たちは人間同士の関わりにおいてバランスを保つことが必要なのでしょうか？

疑い深さと物事を見分ける能力の違いは何でしょうか？

霊を見分ける聖霊のギフトがもたらすものは何でしょうか？

1番の信頼は、いつも神様にだけ置くべきなのです。そうすることで、聖霊の呼びかけに対して、私たちはより敏感になることができます。境界線を越えてバランスを崩しそうになっても、聖霊がそのことに気付かせてくれるのです。(159ページ)

覚えよう

あなたの心が変わるまで、あなたの行動が変わることは決してありません。

疑いの感情は、まだ新しくされていない古い心から生まれます。一方、物事の善悪を見分ける力は、新しくされた霊から生まれるのです。

(バランスを保ち)自分を手なづけ、くれぐれも警戒しろ!(控え目で慎重さを持って!)最大の敵である悪魔は、[ひどい空腹で]飢えほえたけるライオンのように、引き裂くべき獲物を求めて、うろつき回っている。」

1ペテロ5:8 (ALIVE訳より一部強調)

第14章

消極的で受け身な心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第14章を読みましょう。

準備して!

以前より疑い深く、非難的、批判的でなくなっていることに気が付きましたか?気が付いたことと、これからも続けていきたいことを書き出しましょう。

ホセア4:6、1ペテロ5:8、2テモテ1:6を読みましょう。

『passivity(消極性・受動性)』とは何でしょうか?また、なぜこれが危険な問題なのでしょう?

なぜ悪魔はpassivity(消極性・受動性)を利用するのでしょうか?

思考という名の戦場 スタディガイド

イエスを信じる者は、どのようにして敵が戦争に勝利しないことを保証できますか？

「消極的で受け身な態度」とは、「積極的で自発的な態度」に対して真逆の意味を持っています。聖書によると、そこには深刻な問題が潜んでいることがわかります。なぜなら、1ペテロ5:8には、こう書かれているからです。「最大の敵である悪魔の攻撃に備えて、警戒しなさい。悪魔は、飢えてほえたけるライオンのように、引き裂くべき獲物を求めてうろつき回っているのです。(リビングバイブル)」また、2テモテ1:6では、「あなたのうちに注ぎ込まれた力と勇気を、もう一度、奮い起こしなさい。(リビングバイブル)」と教えています。(163ページ)

エペソ4:27、ルカ11:24-26を読みましょう。

私たちの心の『空っぽな空間』をサタンに引き渡すことが、なぜ危険なのでしょうか？

悪い考えを追い出すことがいつも効果を示すわけではないのは、なぜでしょうか？

位置について！

悪い行いをやめて、正しい行いをしたいと思うなら、まず考え方を変えなければなりません。消極的で受け身な人だって、正しいことをしたいと心の中では思っているはずですが、しかし、意識的に自分の意志を働かせて、神のことばと思いに沿って生きる決心をしない限り、正しい行いを実行できるようなにはならない

第14章 - 消極的で受け身な心

のです。(171ページ)

ローマ12:2、ヨハネ15:4,10、マタイ5:27,28を読みましょう。

神様のことばを通して示される『正しい行動は、正しい考え方から生まれる』というダイナミックな原則について説明しましょう。

何の結果として、実は結ばれますか？

また、これには何が伴いますか？

間違っただけから正しい行いへ移行するには、人は何をしなければなりませんか？

思考という名の戦場 スタディガイド

なぜ心の中で『罪をもてあそぶ』ことが危険なのでしょう？

位置について！

コロサイ3:1-2を読みましょう。

『受け身な姿勢で「こうなったら良いなあ」と待ち構えているだけではなく、「必ずこうしてみせる!」という決意を固めるのです。』という文章について説明してみましょう。

あなたの人生で、この文章の言葉を適用すべき分野は何でしょうか？

先ほどと同じ原則を見ることができます。もし、イエスが死からよみがえったのと同じいのちを生きたいと願うなら、地上にあるものではなく、天にあるものに心を向け、力溢れる真新しい人生を求め続けることが大切なのです。

(174ページ)

第14章 - 消極的で受け身な心

今日、あなたの考えの棚卸しをしましょう。毎時間、あなたの時間を最も占めている考えを書き記しましょう。

いざ戦いへ

あなたの時間を占めていた"考えていることリスト"をもう一度確認してみましょう。どの考えを見直したいですか?あなたはどんなことを考えたいですか。

消極的に留まり続けるのではなく、今こそ積極的に行動を起こしていきましょう。そして、「正しい行いは、正しい考え方から生まれる」という原則を忘れないでください。今日、この瞬間に、正しい考え方で心の空間を埋め尽くす決心をしましょう!(175ページ)

思考という名の戦場 スタディガイド

あなたの心が受身・消極的になり始めたりネガティブに考えそうになった時に思い浮かべられる好きな聖書箇所を3つ以上あげましょう。

覚えよう

「もし私たちが幸せな人生を送りたいなら、どんな時にも、心を良いことに向け続ける必要がある。」

この世ではなく、(すべてに勝って上にある存在である)天に目を向けろ!

コロサイ3:2 (ALIVE訳より一部強調)

第15章

キリストの心

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第15章を読みましょう。

準備をしよう!

近頃、あなたはどのような事柄に心を集中させていますか?

人生に何か変化はありましたか?

1 コリント2:16を読みましょう。

この聖書箇所によると、なぜ私たちはイエスが考えるように考えることが可能なのですか?

エゼキエル36:26-27、ローマ8:6、アモス3:3を読みましょう。

なぜ神様は私たちに神の霊を与えたのでしょうか?

(イエスを信じて新しく生まれ変わった時に、なぜ新たな性質、新たな心と思考が与えられたのでしょうか?)

思考という名の戦場 スタディガイド

人間的な心に従うことの結果は何でしょうか？

聖霊の心に従うことの結果は何でしょうか？

キリストの心に従うために、私たちがまず1番目にしなければならないことは何でしょうか？

イエスはどのようなタイプの見方と態度を持っていましたか？

私たちの中にあるキリストの心はポジティブです。ということは、私たちがネガティブになる時、
私たちは...

辞書に載っている『depress(落ち込ませる)』という言葉の意味は何ですか？

この言葉がどのように私たちに当てはまりますか？

第15章 - キリストの心

「いのちをもたらすもの」と「死をもたらすもの」を見分ける力を養うことで、私たちは大きく前進しているのです。

もし、自分の身近に「死をもたらすもの」があるなら、二度とそれに手を出してはいけません。また、あなたの思考パターンが死(あらゆる悲観的な思い)につながるものだとしたら、それは明らかに聖霊の心から生まれたものではありません。(178ページ)

位置について!

詩篇143:3-10を読みましょう。

うつを克服するための8つのステップは何でしょうか?

ネガティブな考えで心が満たされそうになった時、あなたはどのステップを素早く実践する必要がありますか?

聖霊によって強められ、励まされることで、私たちの霊は力と自由を得ます。実は、サタンもそのことを良く知っているのです。だから、私たちから力と自由を奪うために、憂うつな気分を使って攻撃してくるのです。「うつっぽいかな」と感じたら、すぐにその感情に立ち向かい、拒む必要があります。うつは、長く放置すればするほど、取り除くのが難しくなってしまうのです。(182ページ)

思考という名の戦場 スタディガイド

2コリント10:4-5、イザヤ26:3を読みましょう。

なぜ、サタンはうつを利用するのでしょうか？

ネガティブな感情はどこから来るのでしょうか？

キリストの心に従うために、私たちが2番目にしなければならないことは何でしょうか？

詩篇63:5-6、77:12、119:15、143:5、17:15を読みましょう。

もしあなたが勝利ある人生を送りたいなら、何があなたの考え方のライフスタイルとなるべきですか？

朝早起きして神様との時間を持つことは、何に役立ちますか？

第15章 - キリストの心

ヨハネ16:7-8、マタイ28:20、ヘブル13:5、1ヨハネ 4:16を読みましょう。

神様がいつも私たちと共にいるのであれば、神様の存在をどのように意識することができますか？

キリストの心に従うために、私たちが3番目にしなければならないことは何でしょうか？

1ヨハネ4:16を振り返り、ローマ8:35,37を読みましょう。

どのようにして私たちは神様の愛を体験することができますか？

ローマ8:35,37に思いを巡らし、それを口で告白することで得られる結果は何でしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

いざ戦いへ

詩篇100:4を振り返りましょう。

キリストの心に従っている人の特徴の1つは何でしょうか？

ヘブル13:15、詩篇34:1を読みましょう。

どのようにして私たちは神様への祝福となることができますか？

なぜ感謝を表すことは有益ですか？

エペソ5:18、ヨハネ5:38を読みましょう。

どうしたら私たちは聖霊に満たされ・励まされることができますか？

第15章 - キリストの心

マルコ4:22を読みましょう。

神様のことばを実践する力はどこから来ますか？

この章で学んだことをもとに、あなたの心をキリストの心により近づけるために、あなたは何をしようと思えますか？

覚えよう

神様のことばに基づいてじっくり考えよう。

感謝の思いも新たに神殿の門をくぐり、賛美の歌声とともに宮の内庭に入りなさい。さあ、感謝してほめたたえなさい。

詩篇100:4 (リビングバイブル)

第3部

荒野をさまようメンタリティ

第3部

荒野をさまようメンタリティ - イントロダクション

イスラエルの民が、11日で済むはずの道のりを40年もの歳月をかけて、荒野を旅する結果を招いたのは、彼らが『荒野をさまようメンタリティ』を持っていたからです。私たちはそれに驚いている場合ではありません。なぜなら、私たちの多くも彼らと同じことをしているからです。同じ山の周りを、前進するわけでもなく、ただグルグルと回っているのです。その結果、本当はもっと早くに手に入れられるはずだった勝利を何年も体験できずにいるのです。

荒野をさまようメンタリティは間違っただけの心です。心には正しい状態もあれば、間違っただけの状態もあります。心が正しい状態なら、それは私たちにとってプラスに働きます。しかし、心が間違っただけの状態にあると、それは私たちにダメージを与え、前進することの妨げになります。だから、コロサイ3:2からもわかるように、私たちは、いつも心を正しい方向に向けている必要があるのです。間違っただけの心の状態を放置すると、周りに対してだけでなく、私たちの内側にも悪影響を及ぼしてしまうのです。

申命記1:2を読みましょう。

11日間で済むはずのイスラエルの民の旅は、なぜ40年間にも延びたのでしょうか？

申命記1:6を読みましょう。

私たちとイスラエルの民はどのように似ていますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

この時に神様がイスラエルの民に伝えた言葉から、神様は今日の私たちに対して何と
言っていますか？

コロサイ3:2を読みましょう。
荒野をさまようメンタリティとは何でしょうか？

荒野をさまようメンタリティを持つことを防ぐために私たちは何をすべきですか？

なぜ私たちは心を正しい方向に向ける必要があるのでしょうか？

第16章

『私の将来は、過去と現在に左右される』

— 荒野をさまようメンタリティNo.1

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第16章を読みましょう。

箴言29:18(と第3部のイントロダクション)を読みましょう。

イスラエルの民の問題は何だったのでしょうか？

あなたはイスラエルの民に共感することができますか？

それはなぜでしょうか？

ルカ 4:18-19(リビングバイブル)を読みましょう。

絶望してしまうような極端に悪い状況に陥った時、あなたは何を思い出す必要がありますか？

思考という名の戦場スタディガイド

イザヤ11:1-3を読みましょう。

私たちの肉体の目で物事を正確に判断することはできますか？

それはなぜでしょうか？

民数記 14:2-4を読みましょう。

この節におけるイスラエルの民の態度はどのようなものでしたか？

民数記 20:2-4を読みましょう。

このような悪い態度の原因は何でしょうか？

民数記 21:4-5を読みましょう。

この節で見受けられる、イスラエルの民の更なる悪い態度とは何でしょうか？

第16章 『私たちの将来は、過去と現在に左右される』

位置について!

争いを避けるために甥の口を祝福した時、アブラハムが取った態度はどのようなものでしたか?

創世記13:14-15、ローマ4:17を読みましょう。

アブラハムの良い態度の結果は何でしたか?

アブラハムの状況を見て、あなたは自分の将来についてどう考え、どう語るべきでしょうか?

ですから、これからは新しい考え方を身につけていきましょう。神様にとって、不可能なことなどひとつもないのです(ルカ18:27より)。もちろん、人間にはできないことがたくさんあります。でも、私たちは、何もない状態からすべてを造り出した無敵の神様に仕えているのです(ヘブル11:3より)。あなたの無力さを神様に委ね、これから神様がどう働くのかに期待しましょう。神様が働くために唯一必要なのは、「あなたの信仰」です。あなたが信じてさえいれば、あとは神様が成し遂げてくれるのです。(219ページ)

いざ戦場へ

私たちの将来は、過去や現状に左右されることなど決してありません。ただ、自分の心に与えられた神様の約束を信じ、希望を持って未来を見つめ、将来についてポジティブに発言していけば良いのです。(223ページ)

思考という名の戦場 スタディガイド

あなたの人生や目的について、神様があなたの霊に静かに語りかけています。少し時間をかけて、その内容に思いを巡らしましょう。

語られたことばや、あなたの将来にそれらを実現させるために神様と共にあなたがすることを書き記しましょう。

覚えよう

世間のうわさや耳に入ってくることを、そのまま丸ごと信じてはいけません。むしろ、そんな時こそ「聖霊は何を語っている語っているのだろうか？」と耳を傾けるべきなのです。

このことは、彼が信じた神、すなわち死者を生かし、無いものを有るもののようにお呼びになる方の御前で、そうなのです。

ローマ 4:17 (新改訳より)

第17章

『責任を負うのは嫌だから、誰か代わりにやって!』

— 荒野をさまようメンタリティNo.2

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第17章を読みましょう。

準備をしよう!

創世記11:31を読みましょう。

責任(responsibility)はどのように定義されますか?

責任を担うとはどういう意味でしょうか?

テラ(アブラハムの父)は神様が自分の目の前に置いてくれたチャンスに対して、どのように応答しましたか?

思考という名の戦場 スタディガイド

私たちはどのようにテラと似ていますか？なぜ私たちはそのように応答するのでしょうか？

出エジプト記 32:1-14、30-32を読みましょう。

何のためにイスラエルの人々は責任を負おうとしましたか？

誰が代わりに責任を負いましたか？どのように？

父として、神様は子である私たちに何を教えたいと願っていますか？

位置について！

箴言6:6-11を読みましょう。

外側からではなく、内側からモチベーションを得ることが、なぜ大切なのでしょう？

第17章 - 『責任を負うのは嫌だから、誰か代わりにやって!』

マタイ20:16を読みましょう。

責任について言うと、この聖書箇所最後の部分は、

"多くの人は _____

_____ である。" という意味として取ることができる。

ヨシュア1:1-3を読みましょう。

もし私たちが霊的な遺産の相続を主張しながら、自分の責任を真剣に受け止めないなら、どのような結果となるのでしょうか？

モーセの死後、彼に代わってイスラエルの人々を導き、ヨルダン川を渡って約束の地を目指しなさいと、神様はヨシュアに命じました。その瞬間、これまで負ったことのないような多くの責任を、ヨシュアは担うことになったのです。

神様の子どもである私たちも、これから多くのものを霊的に受け継いでいきます。その中で、自分が負うべき責任を真剣に受け止めないなら、神様に用いられるチャンスを逃しているのと同じなのです。(229ページ)

伝道の書11:4を読みましょう。

責任を担うことに対して抵抗に遭うことは、あなたをどのように助けますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

もしあなたが簡単にできることしかしなければ、何が起きますか？

マタイ25:1-13を読みましょう。

この箇所13節によると、主人(キリスト)が戻るのを待つまでの間、私たちは何をすべきでしょうか？

いざ戦いへ

マタイ25:14-28、ヨハネ15:16を読みましょう。

神様があなたに与えてくれた能力に対してあなたはどのように応答すべきでしょうか？

また、なぜでしょうか？

聖書にはっきりと書かれている、私たちへの神様の思いは何でしょうか？

第17章 - 『責任を負うのは嫌だから、誰か代わりにやって!』

1ペテロ5:6-7を読みましょう。

この章から、責任と心配について何を学ぶことができますか？

自分が神様に願ったことを受け取るのなら、何を忘れてはいけませんか？

自分の内側にキリストの心が働いている人は、どのように歩むべきですか？

この章全体を一言に要約しましょう。

この章を読んで、今までとやり方を変えようと思うことを2つあげましょう。

思考という名の戦場 スタディガイド

覚えよう

私たちがそれぞれ実を結ぶこと。それこそが神様の望みであると、聖書にははっきりと書かれています(ヨハネ15:16より)。

あなたがたがわたしを選んだわけではありません。わたしがあなたがたを選んだのです。そして任命しました。だから、あなたがたは行って、いつまでも残るすばらしい実を結びます。また、わたしの名前によって父に求めるものは、何でもいただけるのです。

ヨハネ15:16 (リビングバイブル)

第18章

『難しいことはやめて!私には無理だから!』

—荒野をさまようメンタリティNo.3

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第18章を読みましょう。

準備をしよう!

申命記30:11を読みましょう。

あなたはこの聖書箇所が何を意味していると思いますか?

なぜ神の教えが私たちにとって難し過ぎないと言えるのでしょうか?

ヨハネ14:16を読みましょう。

どのような時に物事は難しくなりますか?

思考という名の戦場 スタディガイド

もし人生の全てが簡単であれば、それは私たちの人生にどのような影響を与えますか？

どのような目的で、聖霊は私たちの中にいて、常に共にいるのでしょうか？

出エジプト13:17、ヘブル4:6を読みましょう。

もしあなたが神様から使命を与えられていると知っているなら、

状況が難しくなった時に、あなたは何をすべきでしょうか？

なぜ神様はイスラエルの民を長く険しい道へ導いたのでしょうか？

約束の地に入ることは、イスラエルの人々にとって、戦う必要がなくなったことを意味しましたか？

第18章 - 『難しいことはやめて!私には無理だから!』

短く簡単な道があったにもかかわらず、神様はなぜイスラエルの民をより長く険しい道に導いたのでしょうか？

位置について!

神様の恵みに頼ることなく、自分だけの力で何かを成し遂げようとしても、状況はただ難しくなるばかりです。もし、人生に何の困難もなければ、聖霊の力に頼る必要などなかったでしょう。聖書は、聖霊の存在を「助け手」と呼んでいます。聖霊は私たちの内に宿り、私たちを助けるために、いつでも一緒にいてくれます。どんなに大きな問題が目の前に立ちはだかろうとも、それを解決できる力をくれるのです。自分では、どうすることもできないような難しい問題も、聖霊の助けがあれば、スムーズに乗り越えていけるのです。(238ページ)

ガラテヤ6:9、ルカ4:1-13を読みましょう。

心の中であきらめたり、やる気を失ったり、がっかりして落ち込んだりしないことが、なぜ大切なのでしょうか？

イエスの40日間の荒野での断食は、イスラエルの民が40年間荒野をさまよった旅とどのように違いますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

1ペテロ4:1-2を読みましょう。

この聖書箇所を教えている、苦しい状況や苦しい時を切り抜けるための秘訣とは何でしょうか？

いざ戦いへ

ピリピ4:12-13を新改訳で読みましょう。(その後、13節をリビングバイブルで読みましょう。)

正しい考え方は私たちに何をしてくれますか？

もしあなたが不平不満をこぼしたりブツブツと文句を言ってしまう人だったら、何をすべきでしょうか？

神様があなたに用意している計画を達成するために、

あなたが神様により頼むことを助ける聖書箇所は何でしょうか？

第18章 - 『難しいことはやめて!私には無理だから!』

全てを達成するために、神様に頼ることを忘れないように、あなた自身に手紙を書きましょう。

あなたが書いた手紙を頻繁に読み直しましょう。

覚えよう

聖霊は、私たちにあきらめてはいけないと呼びかけています。辛くても、しがみついているならば、収穫の時は必ず訪れるのです。

私は、力を与え強めてくださる方によって、どんなことでもできるのです。
ピリピ4:13 (NIVからの直訳)

第19章

『愚痴をこぼし、あら探し、不平不満…どうしてもやめられない』

—荒野をさまようメンタリティNo.4

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第19章を読みましょう。

準備をしよう!

1ペテロ2:19-20を読みましょう。

神様を喜ばせるのは、苦しみではなく、_____である。

1ペテロ2:21-23を読みましょう。

イエスは、どのようにして苦しみに耐えましたか？

エペソ4:1-2を読みましょう。

神様を求めている、世界中の多くの人たちにとって、

私たちが言葉で伝える以上に、大切なものは何でしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

詩篇105:17-19、創世記39-50章を読みましょう。

兄たちに不当に扱われ、無実の罪で投獄されていたヨセフを、なぜ神様は最終的に救い出し、出世させることができたのでしょうか？

1コリント10:9-11を読みましょう。

ヨセフはどのようにイスラエルの民と異なりましたか？

この聖書箇所が伝えているメッセージは何でしょうか？

イスラエルの民と、私たちの模範であるイエスの違いは何だったのでしょうか？

第19章 - 『愚痴をこぼし、あら探し、不平不満…どうしてもやめられない』

このコントラスト(対照)から何を見い出すことができますか？

位置について！

ピリピ2:14-15を読みましょう。

この聖書箇所によれば、なぜ私たちは愚痴をこぼしたり、あら探しをしたり、不平不満を言ったりせずに、すべてのことを行うべきなのでしょうか？

ピリピ4:6を読みましょう。

パウロはこの聖書箇所、私たちはどのように自分たちの問題を解決すべきだと教えていますか？

私たちの人生では、どのような時にぶつぶつと文句を言ったり、愚痴をこぼしたり、人のあら探しをしてしまいますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

そのような時に、私たちは何をすべきだと聖書は教えていますか？

忍耐とは単に待ち続ける能力ではなく、何でしょうか？

どのようにして不平不満をこぼすことを克服できますか？

試練の中で苦悩したイエスの生き様は、実にみごとでした！不平をこぼさず、じっと口を閉ざしたまま、目の前の状況に動揺することなく、神様だけを信頼し…。どのような場面に遭遇しても、イエスはこのような態度を貫いたのです。穏やかな場面では穏やかに対応できるけれど、状況が悪化したり、自分が不当に扱われたりすると短気になってしまふ。そんな人間的な態度を、イエスは一度も取らなかったのです。(248ページ)

いざ戦いへ

世の中には、神様を求めている人がたくさんいます。その人たちに、言葉で神様の素晴らしさを伝えるよりも、日々の振る舞いを通して証明することの方が、はるかに重要であり効果的なのです。もちろん、救いを言葉で伝えることは、とても大切です。しかし、せつかく言葉で伝えたとしても、自分の振る舞いがそれを台無しにしてしまったら、何の意味もありません。むしろ、初めから何も伝えない方がましです。(251ページ)

第19章 - 『愚痴をこぼし、あら探し、不平不満…どうしてもやめられない』

イエスがどのように苦しみを耐えたかを覚えておくことが、どのように私たちの助けとなりますか？

この章に基づいて、あなたが今後やり方を変えてみようと思うことは何でしょうか？

覚えよう

イエスが私たちの見本であり、見習うべき模範です。

だから、イエスがしたのと同じように、私たちも行動すべきなのです。

何事も心配するな。心配を祈りに変えるんだ。すでに持っているものに感謝したうえで神に(必要なものを)はっきりと求めて)願うのだ!

ピリピ4:6 (ALIVE訳より一部強調)

第20章

『待たされるなんてあり得ない。今すぐ受け取りたい!』 — 荒野をさまようメンタリティNo.5

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第20章を読みましょう。

ヤコブ5:7を読みましょう。

短気で我慢できずにイライラしてしまうのは何の実(結果)でしょうか？

なぜ私たちは待っている間、忍耐することを学ばなければならないのでしょうか？

人生の旅路において、私たちはどのような秘訣を学ぶべきでしょうか？

ローマ12:3を読みましょう。

なぜ、待つことをプライドが邪魔するのでしょうか？

思考という名の戦場 スタディガイド

謙虚な人は、何を表に出さないのでしょうか？

ヨハネ6:33を読みましょう。

もし私たちが「自分も、自分の状況も、人間関係も、全てが常に完璧であるべきだ」という考えを持っていたら、それは自分自身をどのような状況に導いていますか？

また、これは他にどのように言い換えられますか？

私たちが何をすれば、この世の全ての災難から害を受けなくなりますか？

最初から失敗することを想定して、計画を立てた方が良いと言っているのではありません。しかし、「この世界には、苦難や試練、災難、いらだちがある」と語ったイエスのことばを胸に留めて、様々な状況を対処していくべきだと思うのです。クリスチャンにとっても、ノンクリスチャンにとっても、この地上に生きる限り、不完全さはつきものです。しかし、神の愛に留まり、聖霊の実を結んで生きていけば、この世のどんな災難だって、私たちに害を加えることはできないのです。(263ページ)

第20章 - 『待たされるなんてあり得ない。今すぐ受け取りたい!』

位置について!

コロサイ3:12を読みましょう。

この聖書箇所では、忍耐をどのように言い表していますか?

なぜ私たちは頻繁にこの聖書箇所に立ち返るべきなのでしょうか?

様々な聖書訳でこの聖書箇所を読んでみましょう。

あなたの気に入った訳を書き写して、暗記しましょう。

ヤコブ1:2-4、ガラテヤ5:22を読みましょう。

忍耐は、何が結ぶ実でしょうか?

思考という名の戦場 スタディガイド

ヤコブ1章(新改訳)では、神様はどのような方法を用いて私たちの中に忍耐を養うと言っていますか？

民数記21:4を読みましょう。

この聖書箇所によれば、なぜイスラエルの人々は、我慢できずにイライラし、失望して、気分を落ち込ませたのでしょうか？

もしあなたがあらゆる種類の試練に忍耐を持って対応することを学んだら、何が起こりますか？

ヘブル10:36 (ALIVE訳)、6:12(リビングバイブル)を読みましょう。

この聖書箇所からわかるように、_____を持たないなら、神様から約束のものを受け取ることはできません。

また、ヘブル人への手紙6章12節によると、私たちが神様の約束を受け継ぐためには、_____と_____が必要なのです。(リビングバイブルより)

第20章 - 『待たされるなんてあり得ない。今すぐ受け取りたい!』

いざ戦いへ

聖霊があなたの内側に「忍耐の実」を結ぼうとしているのを感じたら、それに抵抗することなく、素直に聖霊の働きに協力してください。たとえ聖霊を拒んでも、あなたはただ、「忍耐の実」が成るプロセスを長引かせているに過ぎないのです。だから、どんな試練に直面しても、忍耐を持ち、良い態度で接することで、「忍耐の実」を結んでいきましょう。そうすれば、試練の中をじっと耐え忍ぶだけでなく、耐え忍ぶ間にも、最大限に人生を楽しむコツをつかめるはずです。(266ページ)

箴言16:25、ヨハネ6:63、ローマ13:14を読みましょう。

なぜ世の中には、心が満たされていないクリスチャンがたくさんいるのでしょうか？

あなたが神様を待ち望んでいる時、なぜ悪魔は「何もしないでぼーっとしてるな！行動を起こせ！」と何度もあなたの心を揺さぶってくるのでしょうか？

忍耐を難しく感じるのはプライドに動かされている証拠です。

では、プライドへの唯一の対策は何でしょうか？

1ペテロ5:6を読みましょう。

「自分を控えめに評価しなさい。」とは何を意味していますか？

この章を読み終えた結果として、あなたはどのようにして自分を控えめに評価しようと思いますか？

神様を待ち望み、人間的な思いで行動することを拒む時に、何が起こりますか？

物事が思い通りに進まず、イライラしたり、我慢の限界を感じたら、何をすべきでしょうか？

覚えよう

でも、謙遜はこう叫んでいます。

「『神様の時』がベストタイミング。『神様の時』は、早すぎないし遅すぎない!」

あなたがたは、神の力強い御手の下で自分を低くしていなさい。[自分を低くし、自分を控えめに評価しなさい。]ちょうどよい時に、神はあなたがたを高く引き上げてくださるでしょう。

1ペテロ5:6 (リビングバイブルより一部強調)

第21章

『確かに私の態度は良くないかも。
でも、それは私のせいじゃない!』
—荒野をさまようメンタリティNo.6

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第21章を読みましょう。

準備をしよう!

創世記3:12-13を読みましょう。

荒野をさまよう生活の原因を1つあげましょう。

創世記16:1-6を読みましょう。

あなた自身が、(人のせいにして)他人を責めた経験を1つあげましょう。

私たちが真理と向き合うことを避けるために、なぜサタンは必死に、私たちの心の中に要塞を築こうとするのでしょうか?

思考という名の戦場 スタディガイド

なぜ私たちは、自分の真の姿やふるまいと向き合うことを避けようとするのでしょうか？

民数記21:5を読みましょう。

あなたは、同じ山の周りをいつまでもぐるぐると回り続けていた経験はありますか？

その時にあなたの頭の中に浮かんでいた理由は何でしたか？(複数回答可)

民数記13:1-3、25-28を読みましょう。

誰が「もし...」や「でも...」を私たちの心に植え付けますか？

この策略に打ち勝つにはどうしたらよいのでしょうか？

その他大勢の人々と同様、私も何か起こると、すぐに人のせいになしたり、環境のせいになしたりしていました。「私がこんな態度を取るようになったのは、過去に受けた虐待のせいなのだから、どうすることもできない。」と思っていたのです。しかし、神様はこう言いました。「確かに、虐待を受けた過去が、今のあなたという存在に影響を与えたかもしれない。しかし、虐待を言い訳にして、悪い態度を取り続けるべきではない！」

私たちの心に対して、サタンはいつも必死に働きかけてきます。隙を狙っては、数々の要塞を築き上げ、私たちが真理から離れていくように仕向けてきます。なぜ、サタンはそんなことをするのだと思いますか？それは、「真理が私たちを自由にする」ということを、サタンはよく知っているからです。(273ページ)

第21章 - 『確かに私の態度は良くないかも。でも、それは私のせいじゃない!』

位置について!

詩篇51:1-6を読みましょう。

6節の、神様は真実を『心のうちに』求められる、というのは何を意味していますか?

1ヨハネ1:8-10、ローマ3:20-24を読みましょう。

私たちが本当の意味で心を入れ替えるには、何をすべきでしょうか?

私たちの正当性は、どこに見い出すことができますか?

私やあなたが罪を犯した後に、どのようにして神様の前に正しくなりますか?

思考という名の戦場 スタディガイド

ヨハネ1:1-5、8:32を読みましょう。

暗闇の世界に対抗するための最強の武器とは何でしょうか？

また、なぜでしょうか？

イエスは「真理が私たちが自由にする」と言いました。

では、その真理はどのようにして明らかにされますか？

いざ戦いへ

私たちが目の前の問題に負けてしまうのも、これと同じ理由からです。神様よりも、問題の方が大きく見えてしまうのです。そんな視点が邪魔をして、いつまでも真理と向き合うことができずにいるのではないのでしょうか。「神様だったら、こんな自分でも変えてくれる!」という確信が持てずに、自分の真の姿から目をそらしているのです。(276ページ)

ヨハネ16:12-13、ヘブル13:5を読みましょう。

『真理の御霊』とは誰でしょうか？

第21章 - 『確かに私の態度は良くないかも。でも、それは私のせいじゃない!』

聖霊の主な働きの1つは何でしょうか?また、なぜですか?

あなたが自分自身の真の姿と向き合うことを忘れることがないように、神様はどう手助けすると約束していますか?

あなたが荒野からの抜け出す時、他には何をすることが必要ですか?

覚えよう

「自分の真の姿を見せてください!」と、神様に祈るのです。そして、祈りが答えられて、真の姿と向き合う時が来たら、あきらめずにじっと堪えるのです!それは、決して楽なプロセスではありません。でも、忘れないでください。神様は、あなたにこう言っています。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」

(ヘブル13:5 新改訳より)

イエスは、真理が私たちが自由にすると言いました。

(ヨハネ8:32より)

第22章

『なんて惨めな人生…哀れな自分がかわいそうでたまらない!』

—荒野をさまようメンタリティNo.7

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第22章を読みましょう。

準備をしよう!

民数記14:1-2を読みましょう。

イスラエルの人々は、彼らの置かれた状況にどう反応しましたか?

神様はそのように自分を哀れむ習慣に対して何と言いましたか?

このテーマを理解するために、非常に重要なことは何ですか?

思考という名の戦場 スタディガイド

1テサロニケ5:11を読みましょう。

私たちが誰かに傷つけられたり、失望や挫折を味わった瞬間に、悪魔がすることは何でしょうか？

そのような時に、心に押し寄せる思いに耳を傾けると、何が起こりますか？

自分を哀れむことは、どのようにゆがんでいますか？

人々に分け与えるために受け取った愛を、自分だけのものにする時、何が起こりますか？

自分を哀れむ心とは何でしょうか？

なぜそれが間違っていますか？

第22章 - 『なんて惨めな人生…哀れな自分がかawaiiそうでたまらない!』

位置について!

ピリピ2:4を読みましょう。

どのようにして、自分を哀れむことをやめられますか?

自分を哀れむ思いはどのような時に湧いてきますか?

自分を哀れむ思いが、どのように私たちが荒野に引き留めますか?

失望を経験した時に、クリスチャンに与えられている特権とは何でしょうか?

時には、人からの同情を集めようと必死にもがいて、疲れ果ててしまうこともあるでしょう。そうです。自分を哀れむ心は、私たちが荒野に引き止めるための、サタンの得意な手口なのです。そのことに気付かず、自分を哀れんでばかりいると、それがまるで中毒症状のようになり、そこから抜け出せなくなるのです。(286ページ)

思考という名の戦場 スタディガイド

いざ戦いへ

イザヤ43:18-19を読みましょう。

感情がフツフツと沸き始めるのを感じたら、あなたは何をすることができますか？

あなたの感情がフツフツと沸き始めるのを感じた時に使う祈りを書き記しましょう。

覚えよう

しかし、クリスチャンである私たちには、がっかりしても、またチャレンジできる特権が与えられていることを忘れないでください。神様は、いつでも新しいスタートを、私たちに与えてくれるのですから。

先の事どもを[あえて]思い出すな。昔の事どもを考えるな。見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。

イザヤ43:18-19 (新改訳より一部強調)

第23章

『価値のない自分…祝福を受け取る資格なんてない』 — 荒野をさまようメンタリティNo.8

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第23章を読みましょう。

準備しよう!

ヨシュア5:9、ローマ8:17を読みましょう。

神様はヨシュアに、エジプトのはずかしめをあなたがたから『ころがし去った』と言いました。

「はずかしめ(reproach)」という言葉はどのような意味ですか？

神様は私たちに恵みを与えたいと願っています。サタンは私たちに何を与えようとしていますか？

神様が私たちがはずかしめを取り除くとは、何を意味しますか？

思考という名の戦場 スタディガイド

また、神様の祝福を受けるにふさわしい人など誰もいないにもかかわらず、私たちがそれを受け取るのはなぜでしょうか?どのようにして受け取ることができますか?

ガラテヤ4:7を読みましょう。

あなたは、神の子どもですか?それとも、奴隷ですか?言い換えると、あなたは相続人ですか?それとも、主人の下で働く労働者ですか?

相続人と主人の下で働く労働者の違いは何でしょうか?

この世での経験は私たちに何と教えますか?

このような教えの結果は何でしょうか?

神様の恵みは、私たちに無償で与えられる神様の力です。恵みの力によって、自分ひとりでは達成できないようなことも、成し遂げられるのです。神様は、私たちに恵みを与えたいと願っています。一方で、サタンは私たちに屈辱を与えようとしま す。この屈辱こそが、「はずかしめ」なのです。(292ページ)

第23章 - 『価値のない自分…祝福を受け取る資格なんてない』

位置について!

民数記13:33を読みましょう。

イスラエルの人々が抱えていた「はずかしめ」のために、彼らは自分自身に対してどのような見方をしていましたか?

悪魔はどのようにして、否定的な自分像をあなたに与えますか?

自分に対して低いセルフイメージを持ち、「自分には何の価値もなく、ましてや神様の祝福を受ける資格などない」というメンタリティは、どのように次世代に受け継がれますか?

_____で_____もない人を、
神様は報いるのではありません。
何があっても、_____、_____を握りしめる人を、
神様は報いてくれるのです。

いざ戦いへ

ヘブル11:6を読みましょう。

_____がなければ、神様を喜ばせることはできません。
だから、どれだけ_____をしても、
その動機が神様の恵みを_____だとしたら、
神様はちっとも喜ばないのです。

思考という名の戦場 スタディガイド

エペソ1:4を読みましょう。

この聖書箇所によると、神様は私たちに何を望んでいますか？

ヤコブ1:5、ピリピ1:6節を読みましょう。

ヤコブ1:5は私たちに何を教えていますか？

もし、勝利を手に入れて、力が溢れるポジティブな人生を送りたいなら、あなたは自分自身について否定的であることはできません。否定的である代わりに、どうすべきでしょうか？

ピリピ1:6で、パウロはあなたについて何と言っていますか？

この章を読んで、あなたは自分自身についてどう考え、どう語るべきでしょうか？

第23章 - 『価値のない自分…祝福を受け取る資格なんてない』

あなたがそのように自分自身について考え、語ることを忘れないために、どの聖書箇所が役に立ちますか？

覚えよう

過去の失敗や傷も、神様は憐れんで、補うことのできる存在です。
だから、私たちは心を開いて、神様の憐みを受け取るべきなのです。

あなたがたも私たちも、もはや奴隷(自らの意思で仕える労働者)ではありません。神の子どもなのです。子どもであるからには、神の持つておられるものはすべて私たちのものです。それが[当然のことであり、]神のご計画だからです。

ガラテヤ4:7 (リビングバイブルより一部強調)

第24章

『周りみんな私よりも優秀な人ばかり。
それをうらやましく思うのは当然のことでしょ?』
— 荒野をさまようメンタリティNo.9

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第24章を読みましょう。

準備しよう!

ヨハネ21:21-22を読みましょう。

嫉妬したり、人をねたんだり、心の中で人と自分を比べたり、相手の環境をうらやんだりすることは、

箴言14:30を読みましょう。

ねたみは人をどのような行動に駆り立てますか?

妬みと嫉妬を定義しましょう。

思考という名の戦場 スタディガイド

ルカ22:24-26を読みましょう。

なぜ神の国の価値観は、この世や人間的な価値観とは真逆であることが多いのでしょうか？

人のことを気にして、必要もないのに首を突っ込んでばかりいては、荒野を抜け出すことはできません。嫉妬したり、人をねたんだり、心の中で人と自分を比べたり、相手の環境をうらやんだりするのは、まさに荒野をさまようメンタリティなのです。(303ページ)

位置について！

ガラテヤ5:26、箴言3:3-4を読みましょう。

クリスチャンのための昇進はどこから来ますか？

_____さえいれば、周りから祝福され、
神様も喜んでくれるような形で、成功を収めていけるはずなのです。

3ヨハネ2節(新改訳)を読みましょう。

間違った考え方のパターンが心に忍び込んできたことに気付いたら、あなたは何をすべきでしょうか？

第24章 - 『周りみんな私よりも優秀な人ばかり。

それをうらやましく思うのは当然のことでしょ?』

なぜ『流れ星』のように生きるよりも、長い間じっと留まり続ける方が良いのでしょうか?

もしあなたがこの分野において長い間、要塞が築かれていたとしたら、何をすべきでしょうか?

それはなぜですか?

それをした結果、何が起こりますか?

いざ戦いへ!

やがて、「自分の行いや働きが示す自分」ではなく、「キリストにあって存在する自分」とは何なのかを知っていくうちに、私は本当の自由を体験し、人と自分を比べる必要などないことに気が付き始めました。神様を信頼すればするほど、人と自分を比べることから解放されていったのです。そして、天のお父さんである神様は、私を深く愛していて、他の誰かではなく、「私にとってのベスト」をいつも与えてくれるのだと、ますます理解できるようになりました。

神様が自分に与えてくれるベストは、必ずしも他の人が受け取るベストと同じではありません。それでも、人と自分を比べそうになってしまう時には、イエスがペテロに言ったあのことを思い出してください。「人のことは気にしないで、ただわたしについて来ればいいのです。(ヨハネの福音書21章22節 リビングバイブルより)」(307ページ)

自分自身を他の人と比べてしまうことをやめるための計画を書き出しましょう。

思考という名の戦場 スタディガイド

神様が唯一で特別な存在であるあなたに既に与えているもので、
ベストを尽くすことを忘れないために役立つ聖書箇所を書き写しましょう。

覚えよう

聖書によると、人と自分を比べてばかりいては、本当の平安を手に入れることはできません。

自意識過剰になって見栄を張ったり、競争心をむき出しにして挑発的な態度を取ったり、いがみ合ったり、相手をねたんだり、嫉妬したりしてはいけません。

ガラテヤ5:26 (AMP訳より直訳)

第25章

『私は私のやり方でやる!それがダメならやりたくない。』 — 荒野をさまようメンタリティNo.10

まず、始める前に『思考という名の戦場』の第25章を読みましょう。

準備をしよう!

これまでに、どの荒野をさまようメンタリティに対して取り組みましたか?
あなたの考え方や行動に、どのような変化がありましたか?

詩篇78:7-8を読みましょう。

荒野をさまよったイスラエルの人々を死に追いやった2つの考え方の習慣は何でしたか?

神様は私たちが何を学ぶことを求めていますか?

思考という名の戦場 スタディガイド

「頑固」と「意地っ張り」はどのように定義されますか？
このどちらか、または両方はあなたに当てはまりますか？

なぜ、神様への従順な心を養うプロセスにおいて、「ここまで来ればもう十分」という到達地点は無いのでしょうか？

1サムエル15:22-23、ローマ5:17、黙示録1:6、伝道者の書12:13を読みましょう。

なぜ多くの神の子どもたちが「地上で生きる間に王の座に着く」ことができずに滅びていったのでしょうか？

従順さは、神様を尊んで敬う心と、どのように関係していますか？

第25章 - 『私は私のやり方でやる!それがダメならやりたくない。』

ソロモンはそこまでの知恵を持っていながら、なぜあんなにもたくさんの悲しい間違いを犯してしまったのでしょうか？

そのための最初のプロセスが、「自分のやり方」を神様に明け渡すということでした。そして、柔軟な態度で、神様の力強い手に身を委ね、もう一度自分を新しくしてもらう必要がありました。頑固で反抗的な態度を変えない限り、私たちが神様に用いられることはできないのです。(316ページ)

位置について!

ローマ5:19(リビングバイブル)を読みましょう。

神様に従うか、従わないかの選択が、どのように自分だけでなく、周りの人々に影響を与えるのか説明しましょう。

この聖書箇所では従順を何と定義していますか。

思考という名の戦場 スタディガイド

2コリント10:4-5、イザヤ55:8を読みましょう。

私たちの思いや考えは、問題を引き起こす原因となります。

これを解決するために、私たちは何をすべきでしょうか？

もしあなたの中に、神様の思い(聖書)と一致しない思いがあるのなら、あなたはどうすべきでしょうか？

サタンが戦いを仕掛けて来ました。戦場はどこでしょうか？

この本がどのように、その戦争でのあなたの勝利をサポートしますか？

第25章 - 『私は私のやり方でやる!それがダメならやりたくない。』

いざ戦いへ!

『思考という名の戦場』のどの部分があなたにとって一番意味を持ちましたか?

あなたが持っていた固定観念の中で、この本を読むことで、変えられたものはありますか?

また、その変化は、何か困難の中であなたの役に立ちましたか?

どのように役立ちましたか?

『思考という名の戦場』を読んで、これからあなたが違うやり方をしていけることは何でしょうか?

あなたは本当の意味で イエスとの関係を持っていますか？

あなたは本当の意味でイエスとの関係を持っていますか？

神様はあなたを愛しています！神様は、あなたを特別な唯一無二の存在として創りました。神様はあなたのためだけの目的と計画を持っています。そして、創造主である神様との個人的な関係を通して、あなたは本当の意味であなたの心を満たす生き方を知ることができるのです。

今のあなたが、誰で、何をきて、人生のどのステージにしようと、神様の愛と恵みはあなたのどんな罪や間違いよりも偉大なのです。私たちが神様に赦されて、イエスの中で新しい人生を得られることを知っていたイエスは、喜んで彼の命を捧げました。そのイエスが今、あなたが彼を救い主として招き入れることを待っているのです。

もしあなたが、自分の人生をイエスに捧げて、彼についていく準備ができているのなら、あなたがすべきことはシンプルです。ただ、イエスに自分の罪を赦してもらい、あなたが歩むべくして用意されていた最高の人生の新しいスタートを切れるようにお願いするだけなのです。

まずは、この祈りから始めてみましょう。

「イエス、私の罪が赦されて、あなたと個人的な関係が持てるように、あなたのいのちを私に捧げてくれたことに感謝します。これまで私が犯してきた今までの間違いについて心から謝ります。

これから私が正しく生きていくためにはあなたが必要です。

ローマ10:9にこうあります。

『なぜなら、もし自分の口で、『イエス・キリストは私の主です』と告白し、自分の心で、『神はイエス・キリストを死者の中から復活させてくださった』と信じるなら、あなたは救われるのです。』

私は、あなたが神の子であることを心で信じ、
私の救い主で、私の主であることを口で告白します。

ありのままの私を受け入れて、あなたが求める私になれるように、私の心の中で働いて下さい。イエス、あなたのために生きたいです。そして今日この瞬間からあなたと共に生きる新しい人生のスタートを与えてくれたことに心から感謝します。

イエス、あなたを愛しています!」

神様が私たちのことを、これほどまでに愛していることを知ると胸が高鳴ります!神様は、私たちが毎日祈ったり聖書について学びながら神様との時間を過ごす中で、深く親密な関係を築いていきたいと願っています。そして、私たちは、あなたがイエスを通して新たな人生を手に入れることを励まし、応援したいのです。

神様と歩む新しい人生の幕開けに、おめでとうございます!
あなたからのメッセージをお待ちしています。

ジョイス・マイヤーについて

ジョイス・マイヤーは、聖書の教えを分かりやすく実践的に語る、世界でも有数のメッセンジャーです。ニューヨークタイムズのベストセラー作家でもあり、著書は100冊を超えます。「あなたの人生をシンプルにする100の方法」、「決してあきらめないで!」、「思考という名の戦場」など、インスピレーションに溢れた代表作に加え、小説も執筆しています。また、数多くのメッセージをオーディオやビデオで幅広く提供しています。ジョイスのテレビ/ラジオ番組、「人生を毎日楽しむコツ」は世界中で放送されており、ジョイス自身も、カンファレンス講演のため、世界中を飛びまわっています。ジョイスと夫のデイヴは、4人の子どもを育て、現在は米国ミズリー州、セントルイスを拠点としています。

ジョイス・マイヤーへお問い合わせ

ジョイス・マイヤー ミニストリー - ジャパン

(+81) 0120-05-3922

contact@jmmjapan.jp

www.jmmjapan.jp

Joyce Meyer Ministries - USA

(+1) 636-349-0303

www.joycemeyer.org

